

牙 X7000

取付け・取扱い説明書/保証書

この度は、自動車用盗難警報装置 キバ (X7000) をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び、取扱い手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みの上、ご使用ください。尚、読み終えた後いつでも見られるよう大切に保管してください。

⚠ 注意

本製品は、車体への衝撃や電圧変化を感知し警告を行う装置です。車上ねらい、車両盗難等への防犯効果は多大ですが、防止機ではありません。また、なんらかの手段で盗難警報装置を解除し車両に被害を与える場合も想定されます。本製品の作動の有無にかかわらず車両盗難、車上ねらい、車両へのイタズラ等が発生しなくても、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

●ご使用上の注意	2	・リモコン操作一覧	27
●おもな特長	3	・電源の入れ方	28
●各部の名称	4・5	・待ち受け画面の説明	28
●取付/接続方法		・セキュリティのスタート/ストップ (ドアロック機能連動)	29
・取付/接続時の注意	6	・セキュリティのストップ (ドアロック連動なし)	29
・配線概要図	7	・モードの設定	30
○取付け手順		・リモコン音の設定	30
1・ボディアース配線	8	・リモコン表示の設定	31
2・スピーカーユニット取付け接続	8	・パニックアラーム機能	31
3・アクセサリ検出配線・BeTime信号配線	9	・履歴表示	31
4・ホーン配線	10/11	・圏内/圏外表示	32
5・カーテン配線	12	・ドアロック/アンロック	32
6・ドアロック・アンロック配線	13/14	・エンジンスターターへのID登録	33
7・常時電源配線	15	・エンジンスターターのスタート/ストップ	34
8・アンテナユニットの取付け接続	15	●センサーの設定/調整	
9・振動センサーユニットの取付け接続	16	・振動センサー	35
10・メインユニットの取付け接続	17	・電圧センサー	36
●警報について		●リモコンの登録について	
・スピーカー (予備警報) 警報について	18	・リモコンのID登録 (追加リモコンの登録)	37
・車両ホーン (本警報) 警報について	18	●その他の機能	
・リモコン警報	19	・オートドアロック機能	38
●アンテナユニットの設定/使い方		・省電力モード機能	38
・アンテナユニットスイッチの設定一覧	20	・フラッシャー/フラッシュライトの威嚇機能	38
・スピーカー (予備警報) 警報音の設定	21	・通信確認機能	39
・スピーカー予備警報回数の設定	22	・セキュリティの強制スタート/ストップ	39
・車両ホーン (本警報) 警報音の設定	22	●付属のステッカーについて	40
・キャンセルタイマー設定	22	●本製品の修理について	40
・スタート/ストップ音の設定	23	●オプションについて	40
・スタート/ストップ時のハザード機能設定	23	●スマートエントリー&スタートシステム車に取付けたお客様へ	41
・警報時のハザード機能設定	23	●故障かな?と思ったら	42
・その他の設定	24	●盗難保険について	43
・スピーカーの音量設定	24	●メモ	44
・フラッシャー表示の変更設定	24	●X7000仕様	45
●リモコンについて		●さくいん	46
・アンサーバックについて	25	●保証規定	47
・リモコンご使用前に	25		
・リモコン操作方法	25		
・リモコンの充電方法	26		

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。又、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為、誤った取り扱いをすると生じる恐れのある内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を被る可能性があります。

⚠ 注意 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。またエンジンルーム内への取付け・配線等も車両の機構（ファン・ベルト等）や、熱の影響の無い場所へ取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品を不用意に人や動物の近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。
- 本製品をスタート（監視状態）したまま車を走行させないで下さい。誤作動の原因になり製品が故障する恐れがあります。

⚠ 注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。（ただし、ヒューズ・両面テープ等の消耗品は、保証の対象になりません）
- 万一、製品本体にロット番号シールがない場合は、商品をご使用になる前に弊社へご連絡ください。
- 12V車のみ使用可能です。24V車には使用できませんのでご注意ください。
- 保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 指定の電池以外は使用しないでください。
- イグニッションキーを抜いた状態で、ステアリング部のホーンスイッチを押してもクラクションが鳴らないお車には、クラクション警告機能が使用できませんので本製品の取付けはできません。
- 本製品の取付けは、確実に固定してください。固定が不十分ですと誤作動の原因となります。
- 車両によっては電圧センサーが作動せず、カーテシ配線のできない車両があります。その場合は本製品の取付けはできません。
- 付属スピーカーは必ず車内に取付けてください。
- 本取付け・取扱い説明書内のイラストは、製品と一部異なる場合があります。
- 本製品を修理・点検依頼された場合、修理期間中は別商品の貸出し（代替品）などのサービスは行っておりません。
- 本製品を修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車両盗難、車上狙い、車両へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任は負いかねます。

◇ 「道路運送車両の保安基準」（保安基準）について

2003年（平成15年）7月7日、国土交通省によって定められ車両に盗難発生警報装置を装着した場合は、新保安基準に適合する必要があります。

- 本製品は保安基準に対応（全国自動車用品工業会自主基準登録商品）ですが下記のことを守らないと車検を通過しないまたは整備不良車になる恐れがあります。

- ・商品の取付けは必ず取扱い説明書通りに取付けを行ってください。もし取扱い説明書通りでない不適切な取付けを行った場合には車検に通過しない可能性があるだけでなく、整備不良車とされる恐れがあります。
- ・登録証（技術基準適合の証明書）は車検時の審査の参考資料として利用されます。あるいは提出を求められる可能性がありますので車検証に添付することをお勧めします。
- ・基準を満たす為にオプションを取付ける場合は本製品を含めて全体で平均30mA以下で取付ける必要があります。詳細はP40を参照してください。
- ・車検を受ける時は必ずアンテナユニットのファンクションスイッチを初期設定（P20）にしてリモコンでスタンダードモード（P30）で車検を受けてください。
- ・取付したメインユニット、センサー、配線類は車内外から見えないように取付配線を必ず行ってください。
- ・保安基準についてのご質問、お問い合わせは国土交通省に直接お問い合わせください。

○備考 「守護神」は、商標登録第2291392号の表示許諾契約を締結しています。

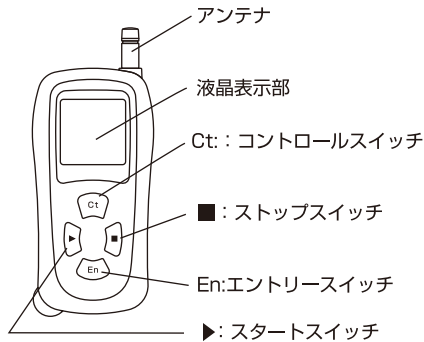
おもな特長

- ドットマトリックス液晶表示リモコン
液晶（2色）のドットマトリックス表示により多彩な文字（日本語・英語）やイラストの表示が可能になりリモコン操作、警報内容がわかりやすくなりました。
- 4つから選べるセキュリティモード機能
環境によってスタンダード、シティ、ナイト、サイレントの4つからリモコン操作でセキュリティのスタートが可能。
（例：シティモード・・・振動センサーをOFFにしてドアオープンのみ警報します。）
- パニックアラーム機能
車に不審者を確認した時、リモコン操作により電子音を鳴らす事ができます。
- 特定小電力アンサーバックシステムリモコン
アンサーバックシステム搭載リモコンがリアルタイムに表示&アラームでお知らせ。車から離れても特定小電力リモコンなので大丈夫。※電波到達距離 直線見通し約2500M、市街地は最大で約500M（当社計測値）
- ダブル充電方式+スピーカー&アンプ付き充電器
充電器無しでも付属ACアダプターから直接充電ができるダブル充電方式を採用。又、充電器で充電中に警報があった時リモコン警報と充電器からの大音量でスピーカーからお知らせします。
- 多彩なリモコン機能
リモコン操作により圏内、圏外表示やリモコン音を消音、アラーム、メロディなどの操作が可能。
- リモコンの追加可能
X7000のリモコンを2個まで追加可能。※全部で3個使用できます。
- ダブル振動センサーでダブル警報
弱い衝撃と強い衝撃を別々にボリュームで調整できます。又、弱い衝撃と強い衝撃を識別して警報を鳴らします。
- 電圧センサー搭載
ドアオープン（ルームランプ点灯）等の電圧変化に反応する新開発の電圧センサーで監視。
※一部車種で、電圧センサーが正常に作動しない場合があります。カーテン配線を行ってください。
- 高輝度LED+フラッシュライトによる監視機能&警告機能
本製品が車両監視状態の時、8個の高輝度LEDが点滅（8パターン）し不審者を威嚇します。又、センサーが感知すると高輝度LEDのフラッシュ点滅とフラッシュライト点滅で警告を行います。
- リモコンドアロック連動方式
X7000のリモコンでドアロック・アンロックが行え、連動してセキュリティのスタート・ストップも行えます。
※一部車種で、取付けができない場合があります。
- BeTimeの操作が可能
X7000のリモコンをBeTimeに登録することによりエンジンスタート/ストップの操作ができます。
※BeTimeエンジンスターターが別途必要になります。現在の対応機種はBeTime A-73/74/75/83/84/85/93です。
- 日本語・英語・中国語・電子音での警告が行えるスピーカー（予備警報）
スピーカーからの警告音を、日本語・英語・中国語・電子音の中から設定できます。又、音量の調整も可能です。
- 盗難保険・1年間無償加入
本製品ご購入日から1年間有効の盗難保険に加入しています。（最高保証額¥100,000）
※保険対象品 ・タイヤ・ホイール・カーナビゲーションシステム・カーテレビ・カーオーディオ
・レーダー探知機・エンジンスターター・ETC本体
- 履歴機能
停車中の車両に異常が起きた時の警報の内容をリモコン（表示）で確認できます。
- 省電力モード（バッテリー保護）
8日間以上連続して監視状態の場合、バッテリー保護の為、高輝度LEDが消費電力最小の点滅に変わります。
- エンジンスターター&ターボタイマー取付車対応

各部の名称

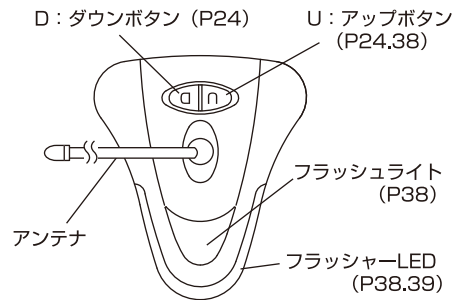
(セット内容)

※ () 内はセット数量



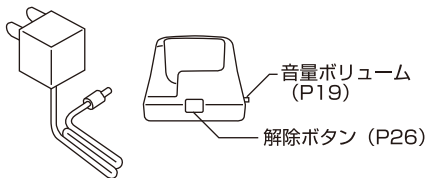
※ リモコン操作一覧はP27

◆リモコン (1)

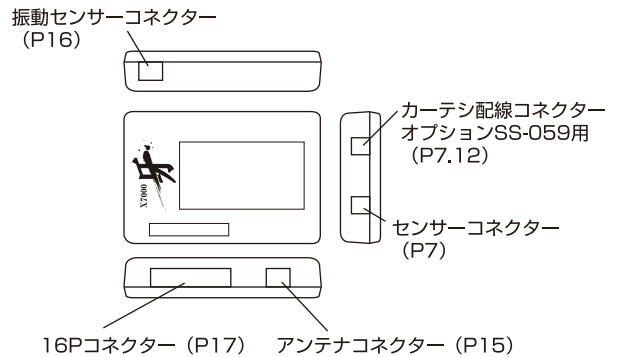


※ アンテナユニットファンクション
スイッチ設定一覧はP20

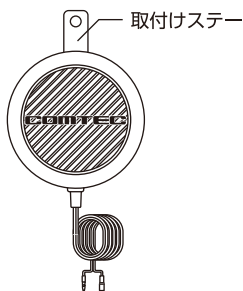
◆アンテナユニット (1)



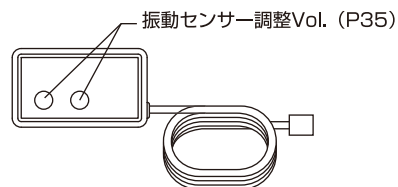
◆充電器 (1) 専用ACアダプター (1)



◆メインユニット (1)



◆スピーカーユニット (1)

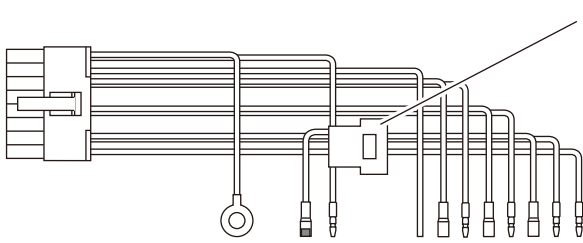


◆振動センサーユニット (1)

注: 取扱説明書内イラストと実際の商品は一部形状が異なる場合があります。

各部の名称

(セット内容)



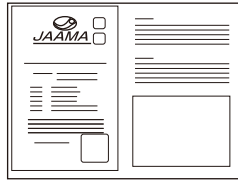
ヒューズ

※規定容量以上の電流が入力されると回路保護の為ヒューズが切れます。その場合、同容量のヒューズと交換してください。

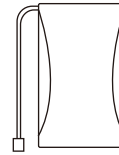
◆16Pハーネス (1)



◆アンテナ接続ケーブル (1)



◆登録証 (1)



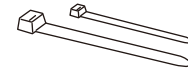
◆リモコン用充電電池 (1)



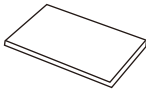
◆コードクランプ (3)



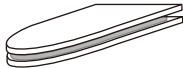
◆盗難保険事故報告書 (1)



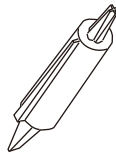
◆インシュロック (大×4 小×6)



◆両面テープ (2)



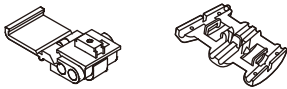
◆ファスナーテープセット (1)



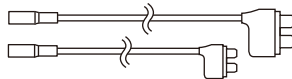
◆調整用ドライバー (1)



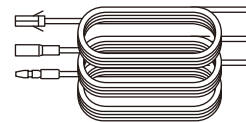
◆インシュロックベース (2)



◆エレクトロタップ (赤×9 青×1)



◆平型ヒューズ付きコード (大×1 小×1)



◆延長線
 ・ドアポジション延長線 (桃×1)
 ・ドアロック延長線 (緑×1)
 ・ドアアンロック延長線 (紫×1)
 ・カーテシ入力延長線 (黄×1)
 ・ホーン出力延長線 (青×1)



◆ステッカー (1シート)
 ※車両の窓ガラス等に貼ってください。

取付け/接続方法

◆取付け/接続時の注意

- 取付の時は必ずシフトレバーをパーキング \square にし、パーキングブレーキを確実にかけ、エンジンを停止させ、キーを抜きます。

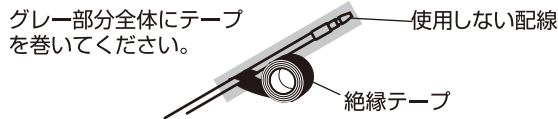


●配線について

※配線等を取納する際、車の金属部（ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄等）にコード類が接触する場合は、その部分に必ず絶縁テープ等を貼って保護してください。



※使用しない配線は絶縁テープを巻き他の配線や車両ボディーアースに接触しないようにします。

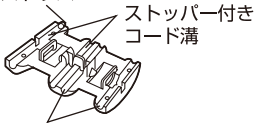
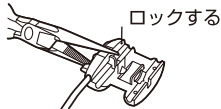

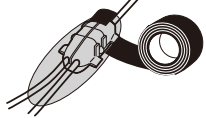
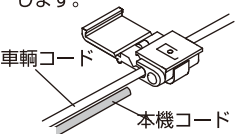
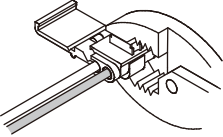
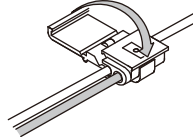
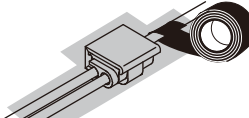


●取付けに必要な工具

- ・サーキットテスター ・ドライバー ・カッターナイフ ・プライヤー ・絶縁テープ
- ・スパナ又はボックスレンチ ※その他の工具が必要になる場合があります。

●エレクトロタップの使用方法

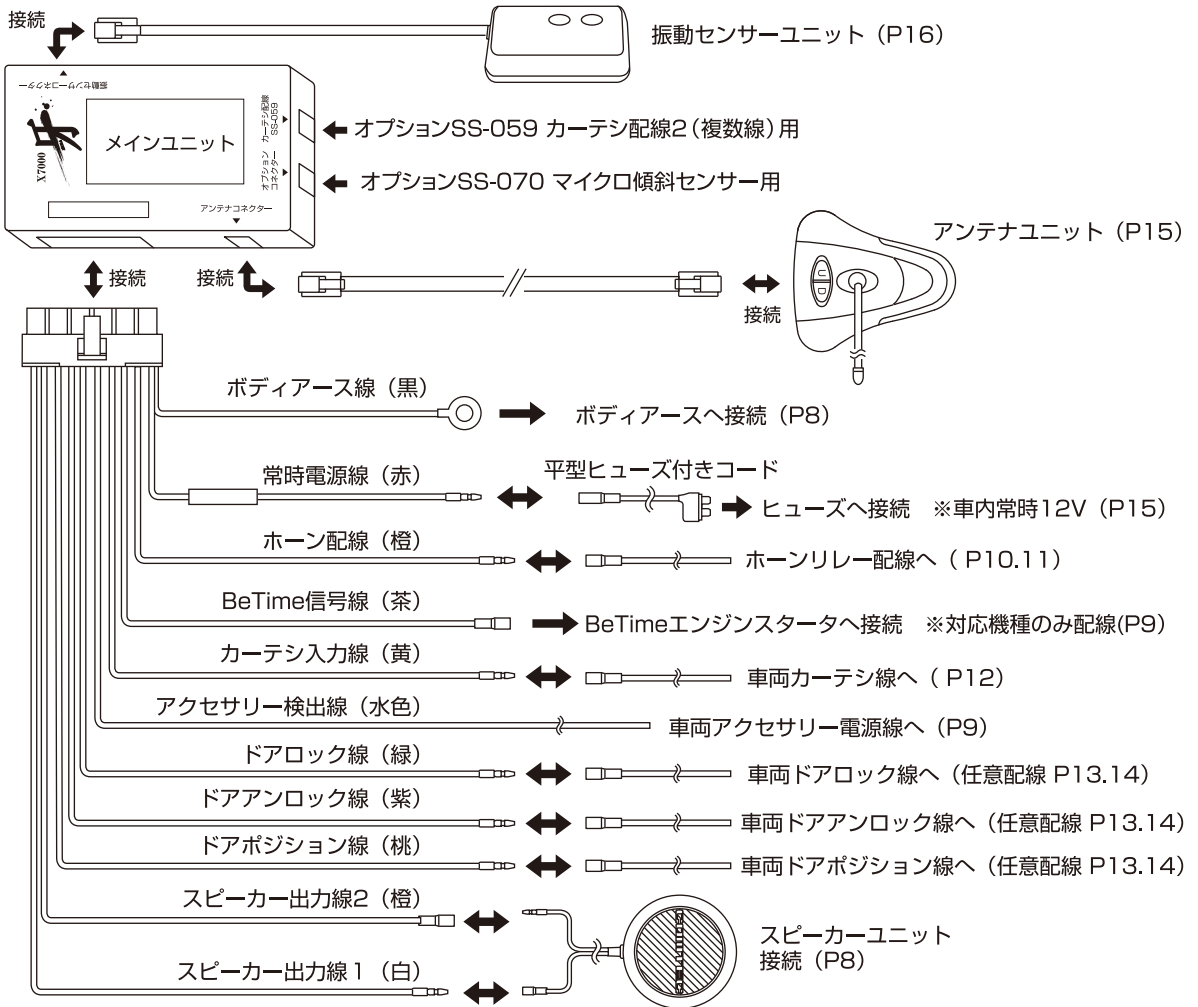
注意 エレクトロタップで接続後、安全の為に必ず絶縁テープを巻いてください。
エレクトロタップは青タップ、赤タップの使用方法が異なります。
一度使用したエレクトロタップは再使用すると接触不良の原因になりますので再使用しないで下さい。

<p>青タップの使用方法</p> <p>1. タップを図のように見ます。 ストッパー</p>  <p>ストッパー付きコード溝</p> <p>ストッパー無しコード溝</p>	<p>2. ストッパー付きコード溝に本機のコードを挟みプライヤー等でロックします。</p>  <p>ロックする</p>	<p>3. ストッパー無しコード溝に車側のコードを挟みプライヤー等でロックします。</p>  <p>ロックする</p>	<p>4. 絶縁テープを巻きます。</p>  <p>グレー部分全体にテープを巻いてください。</p>
<p>赤タップの使用方法</p> <p>1. コードを差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。</p>  <p>車輛コード</p> <p>本機コード</p>	<p>2. プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。</p> 	<p>3. カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。</p> 	<p>4. 絶縁テープを巻きます。</p>  <p>グレー部分全体にテープを巻いてください。</p>

取付け/接続方法

◆配線概要図

※オプション配線の記載もしてあります。



◆16Pコネクターの内容

16Pコネクター配置番号

16	14	12	10	8	6	4	2
15	13	11	9	7	5	3	1

1	ボディアース (黒)	2	常時電源 (赤)
3	ドアポジション (桃)	4	オプション入力
5	ホーン出力 (橙)	6	カーテシ入力線 (黄)
7	アンサーフラッシュ (OP)	8	ドアアンロック線 (紫)
9	BeTime信号線 (茶)	10	ドアロック線 (緑)
11	トランクセンサー (OP)	12	ボンネットセンサー (OP)
13	スピーカー出力 (白)	14	スピーカー出力 (橙)
15	アクセサリ検出線 (水色)	16	

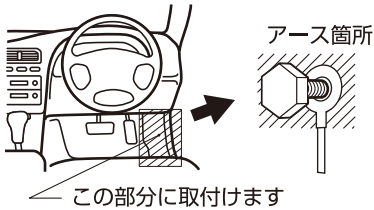
◆オプションの接続箇所

- Be-968 「アンサーフラッシュリレー」
16Pハーネスの7番に付属配線を入れます。(設定はP23)
- SS-059 「カーテシ配線2 (複数線)」
メインユニットの「カーテシ配線SS-059」4Pコネクターに4Pケーブルを差し込んで下さい。(設定はP12)
- SS-066 「ツインデジタル衝撃センサー」
メインユニットの「振動センサーコネクター」にオプションSS-068「分岐ユニット」を接続して付属振動センサーと一緒に接続します。
- SS-067 「ボンネット/トランクセンサー」
ボンネットに使用する場合は16Pハーネスの12番に付属配線を入れます。
トランクルームに使用する場合は16Pハーネスの11番に付属配線を入れます。
- SS-068 「分岐ユニット」
メインユニットの「振動センサーコネクター」に接続してオプションSS-066「ツインデジタル衝撃センサー」と標準の振動センサーを分岐します。
- SS-070 「マイクロ傾斜センサー」
メインユニットの「オプションコネクター」に接続します。

取付け/接続方法

◆取付け手順 1) ボディアース配線

16Pハーネス・アース線（黒）を、塗装されていないボディまたはフレームのビス等へ確実に共締めします。



⚠ 注意

- ・バッテリー電圧と同等の電圧があるか確認してください。
- ・アース端子とフレームの間に樹脂、塗装等があると、確実なアースが取れません。
- ・不適切な場所へアース端子を取付けると、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。その場合アースの取付位置を変更して下さい。

◆取付け手順 2) スピーカーユニット取付け接続

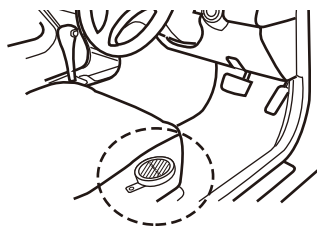
スピーカーユニットは室内に動かないよう固定して取付けます。

⚠ 注意

- ・スピーカーユニットの取付、配線を行う際、高温となる場所（エアコン吹き出し口付近等）への配線は避けてください。

1.スピーカーユニットの取付け（室内）

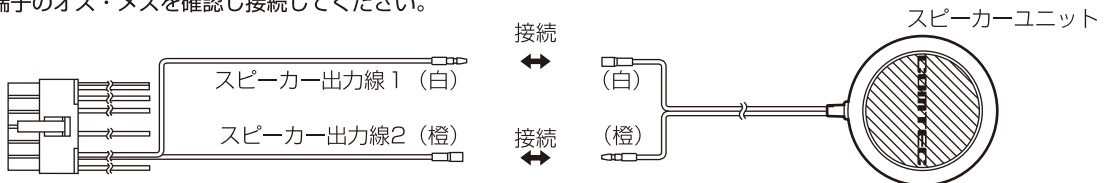
- ・スピーカーユニットの取付けステーを使用して、運転に支障の無い箇所へ確実に取付けます。
 - ・車輛のネジ等を利用して確実に取付けてください。
- ※気密性、防音性の高い車両の場合、警告音が聞こえにくくなる場合があります。



(取付け例) 運転席下部

2.スピーカーユニットの接続

- ・16Pハーネス・スピーカー出力線1（白）・スピーカー出力線2（橙）をそれぞれスピーカーユニットと接続します。
- ※各端子のオス・メスを確認し接続してください。



取付け/接続方法

◆取付け手順 3 アクセサリー検出配線・BeTime信号配線

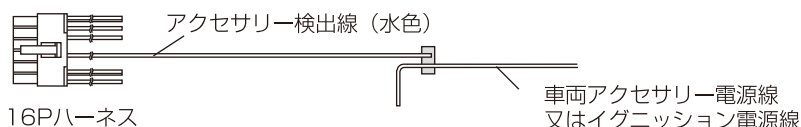
●お取付けの車種によって下記 a, b の2通りの配線方法があります。

- ・本製品作動中にリモコンを紛失・破損した時等、車両のイグニッションキーをACCの位置にすると警報のみ（警報中でも）停止します。※イグニッションキーをOFFにすると本製品がキャンセルタイマー作動後スタートします。
- ・注、イグニッションキーをACCの位置にするまでは、車両のドアを開けたり、車両に振動を加えると警報が鳴ります。
- ・エンジンスタート/ターボタイマーお取付けの車両はエンジンスタート/ターボタイマー作動中本製品が作動中でも警報のみ停止します。
- ・※エンジンスタート/ターボタイマー停止後、本製品のキャンセルタイマー作動しセキュリティがスタートします。

a

- ・エンジンスタート/ターボタイマーを取付けていない車両の場合。
- ・エンジンスタート「Be Timeシリーズ」で盗難警報機接続線（茶色）の無い機種を取付けている場合。
- ・他社メーカーのエンジンスタート/ターボタイマーを取付けている場合。

- ・16Pハーネス・アクセサリー検出線（水色）を車両のアクセサリー電源線にエレクトロタップで接続します。



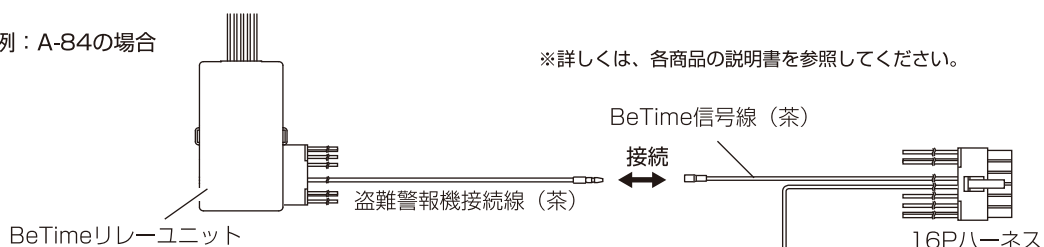
- ・他社メーカーのエンジンスタート/ターボタイマーでアクセサリーを制御しない物があります。その場合は車両側イグニッション電源線に配線してください。
- ・アクセサリー電源がない車両はイグニッション電源線に配線してください。
- ・イグニッションキーをOFFにしてもアクセサリー電源線に電圧が残る車両があります。その場合は車両側イグニッション電源線に配線してください。

b

- ・弊社製品のエンジンスタート/ターボタイマー「Be Timeシリーズ」で盗難警報機接続線（茶）のある機種を取付けている場合。

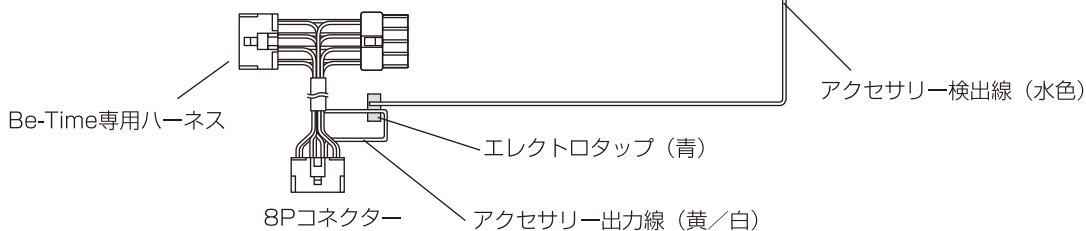
- ・本体リレーボックスから出ている盗難警報機接続線（茶）に16PハーネスのBeTime信号線（茶）を接続します。

※例：A-84の場合



※詳しくは、各商品の説明書を参照してください。

- ・セキュリティの16Pハーネスのアクセサリー検出線（水色）とBe Time専用ハーネスの黄/白線をエレクトロタップで接続します。



※イグニッションキーをOFFにしてもアクセサリー電源線に電圧が残る車両があります。その場合はBe Time専用ハーネスの緑/白線に接続します。

取付け/接続方法

◆取付け手順 4) ホーン配線

●ホーン配線を行うことで警報時に車両のホーンでお知らせします。

(注) 下記の様な車は取付けできません。

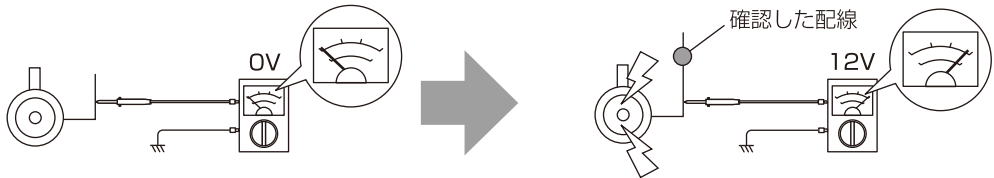
- ・イグニッションキーを抜いた状態で、ホーンボタンを押し、ホーン（クラクション）が鳴らない車両。
- ・車両メーカー純正のホーンでない車両
- ・エアホーン
- ・鳴らした時に5Ah以上電流が流れるホーン

1 車のホーンは、「プラススイッチ方式」と「マイナススイッチ方式」があります。下記の方法で、ホーンのスイッチ方式を調べて下さい。

■プラススイッチ方式の配線を確認する

●車のホーン1個につきコードが1本の場合

○ホーンオフ時に0Vで、ホーンON時に12Vになる配線を確認します。



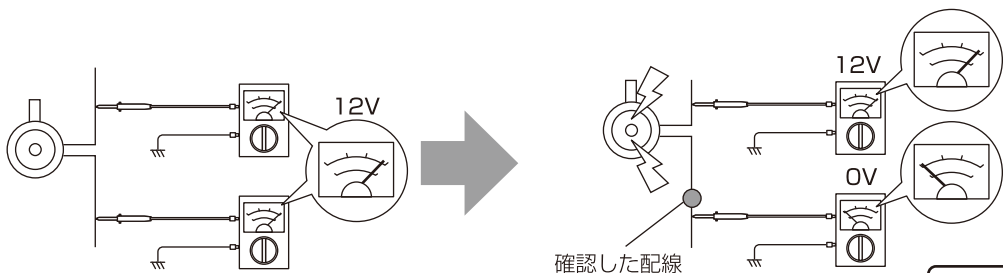
※プラススイッチ方式の車でも1個のホーンにコードが2本ある場合があります。

P11へ →

■マイナススイッチ方式の配線を確認する

●車のホーン1個につきコードが2本の場合

○ホーンから出ている2本の配線がホーンOFF時に2本とも12VでホーンON時に0Vになる配線を確認します。



P11へ →

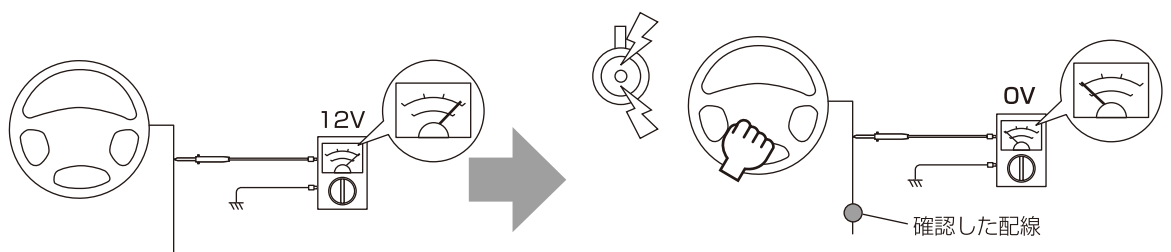
●ホーンスイッチから配線する場合



注意

ハンドルのホーンスイッチ部にはエアバックの配線がありますので注意して下さい。エアバックの誤作動の原因になります。

○ハンドルホーンスイッチから出ている配線でホーンOFF時に12VでホーンON時に0Vになる配線を確認します。



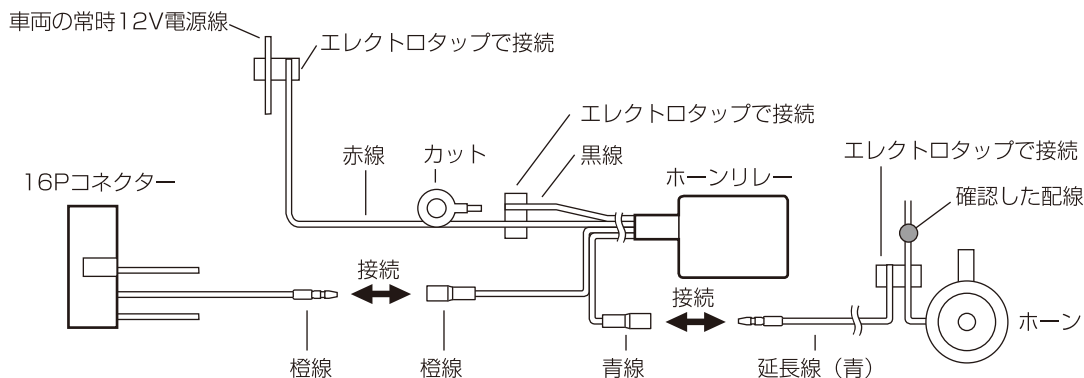
P11へ →

取付け/接続方法

2 P10 ①で確認した方式で下記接続をして下さい。

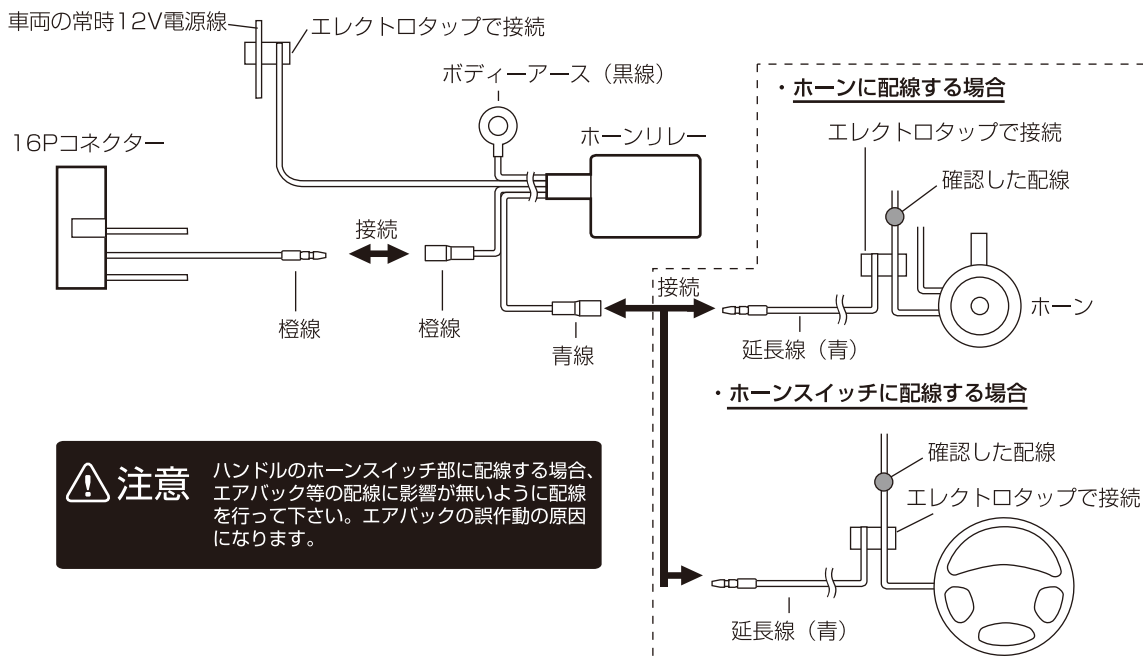
■プラススイッチ方式の場合

- ・ ホーンリレーからでている黒線の先端端子をカットし、赤線とエレクトロタップで接続する。
- ・ ホーンリレーの赤線を車両の常時12V電源線とエレクトロタップで接続する。
※P15のセキュリティ常時電源線（赤）と接続するとノイズや過電流により本製品が誤作動する場合がありますので必ず他の場所から配線して下さい。
- ・ ホーンリレーの橙線を16Pコネクターの橙線と接続する。
- ・ ホーンリレーの青線を延長線（青）と接続し、P10で調べたホーンの配線へエレクトロタップで接続します。



■マイナススイッチ方式の場合

- ・ ホーンリレーからでている黒線を車のボディアース（塗装されていないボディ又は、フレームのビス）にしっかりと共締めする。
- ・ ホーンリレーの赤線を車両の常時12V電源線とエレクトロタップで接続する。
※P15のセキュリティ常時電源線（赤）と接続するとノイズや過電流により本製品が誤作動する場合がありますので必ず他の場所から配線して下さい。
- ・ ホーンリレーの橙線を16Pコネクターの橙線と接続する。
- ・ ホーンリレーの青線を延長線（青）と接続し、P10で調べたホーンの配線へエレクトロタップで接続します。



注意

ハンドルのホーンスイッチ部に配線する場合、エアバック等の配線に影響が無いように配線を行って下さい。エアバックの誤作動の原因になります。

取付け/接続方法

◆取付け手順 5 カーテシ配線

○カーテシ配線(カーテシセンサー)とは・・・

車のドアが開いたのを確認するスイッチが車側についていて、これをカーテシスイッチ(メーカーによって呼び名が違う場合があります)と言い、このスイッチに配線することにより車のドアが開いたのを確認し警報を行います。

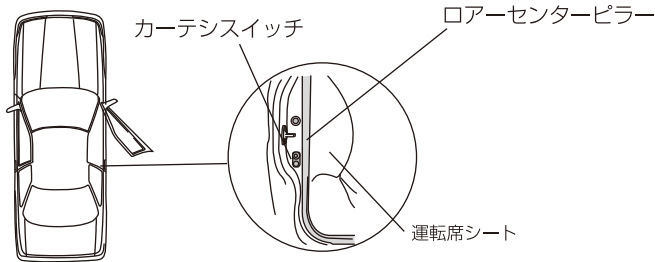
※付属のカーテシ延長線は、カーテシ配線を1箇所で見取れる車種専用になります。複数のドアに対してそれぞれ独立したカーテシ配線を行う必要のある車種は別売のカーテシ配線2(複数線)「SS-059」をご使用ください。

・一部車種でカーテシ配線ができない車両があります。(多重通信車など)

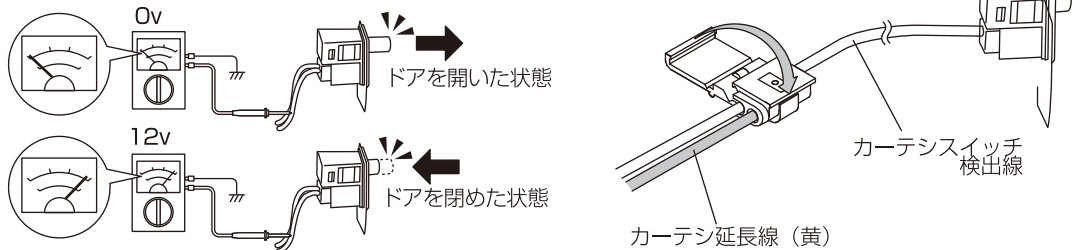
・カーテシスイッチ以外にも配線ができる車両もあります。(キー照明、半ドア警告灯など)

1 運転席側ロアーセンターピラーのカバーをはずします。

例：ドアスイッチに配線



2 車両側カーテシ検出線をテスター等で探し、カーテシ入力延長線(黄)と車両側カーテシ検出線をエレクトロタップ(赤)で接続します。

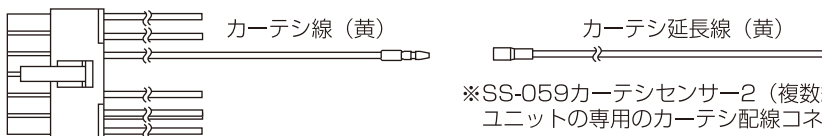


注意 ⚠

車両によっては多重通信の為、ドアを開け閉めしても電圧がほとんど変化しない場合があります。その場合は配線できませんので、違う場所(キー照明、半ドア警告灯など)から配線をしてください。

3 16Pハーネスのカーテシ入力線(黄)を延長線と接続します。

16Pハーネス



※SS-059カーテシセンサー2(複数線)を取付ける場合はメインユニットの専用のカーテシ配線コネクタに接続してください。

4 アンテナユニットファンクションスイッチの電圧センサーB-6を必ずOFFにします。



取付け/接続方法

◆取付け手順 **6** ドアロック・アンロック配線(任意配線)

●本製品のリモコンにて車両のドアロック/ドアアンロックと連動してセキュリティのスタート/ストップを行います。

(注) 下記の様な車種はドアロック・アンロック制御を行えません。

- ・車種別専用ハーネス適合表で適合していない車種
- ・集中ドアロック制御できない車種
- ・弊社以外のセキュリティシステム装備車(純正セキュリティ含む) ※一部車両除く
- ・ディーラーオプションのキーレス搭載車種
- ・キーフリーシステム(インテリジェントキー/スマートキーなど含む) 装備車 ※一部車両除く

●配線の前に・・・

- ・自動車メーカー、車種によってドアロック、アンロック配線の方法が異なります。また、本製品以外に別売のワイヤレスドアロックアダプターBe-965や多重通信アダプターBe-974を必要とする車種があります。
- ・X7000を取付ける前に当社エンジンスターターBeTime側でドアロック、アンロック配線がしてある場合はドアロック、アンロック配線を外しX7000側に配線して下さい。
- ・X7000は汎用商品の為、車種別に取付け配線図等は用意しておりませんのでご了承下さい。
- ・X7000のドアロック機能を使用する時は、BeTimeのリモコンや純正キーレスでの併用使用はしないで下さい。誤作動の原因になります。

○取付方法は下記、2種類の方法があります。

Aタイプ・・・本製品だけで配線が可能。(マイナスコントロール方式)

適応車種・・・電気式集中ドアロックスイッチ(全席のドアロック・アンロック可能なもの) 装備車で、通常時12Vでドアロック、アンロック時0Vになり動作後12Vに戻るタイプ。※車両によっては通常時の電圧が12Vない場合があります。

Bタイプ・・・本製品以外に別売のワイヤレスドアロックアダプターBe-965が必要。(プラスコントロール方式)

※配線方法はワイヤレスドアロックアダプターBe-965を参照してください。

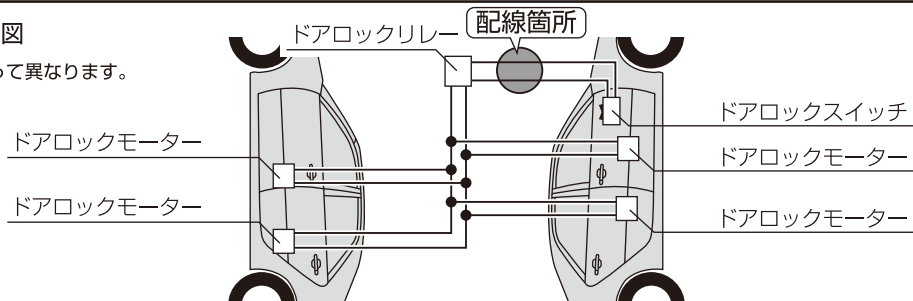
適応車種・・・運転席でロック、アンロックした時に全てのドアが連動してロック、アンロックでき、通常時0Vでロック、アンロック時12Vになり、動作後0Vに戻るタイプ。(アンロック時、又はロック時のみ12Vから0Vになる車両も含まれます)

※詳しくは最新の車種別専用ハーネス適合表を参照してください。

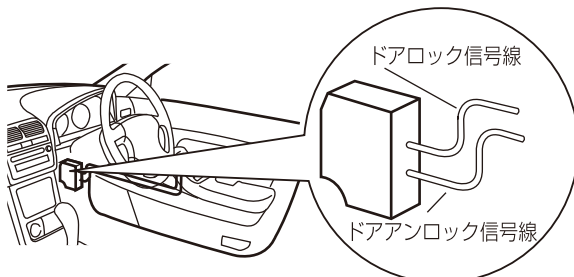
Aタイプの配線方法 マイナスコントロール方式

1 配線概要図

※車種によって異なります。



2 車両ドアロック・ドアアンロック線を探します。ドアロックレシーバー、ドアロックリレー、ドア内へ配線されているハーネス、ドア内の集中ロックスイッチまわりから探し出します。



※場所は車種によって異なります。

ドアロック線(通常12v)
ドアロック動作時→0v
動作後→12v

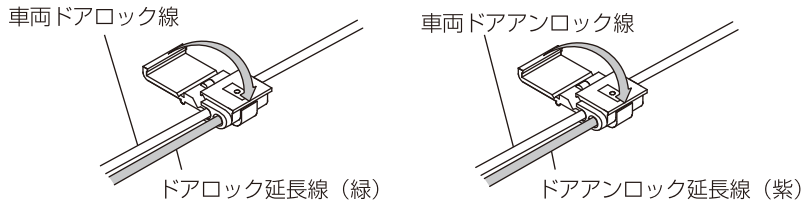
ドアアンロック線(通常12v)
ドアアンロック動作時→0v
動作後→12v

注意 ⚠

※車種によって多重通信の為、ロック、アンロック時もほとんど電圧が変化(0Vのまま)しない場合があります。

取付け/接続方法

- 3** ドアロック、ドアアンロック各延長線（緑、紫）をP13 **2** で探したドアロック線、ドアアンロック線にそれぞれエレクトロタップ（赤）で接続します。



- 4** エレクトロタップで接続後、延長線をボディアースに接触させ、ドアロック、ドアアンロックが作動するか動作確認します。

ドアロック、アンロックする。

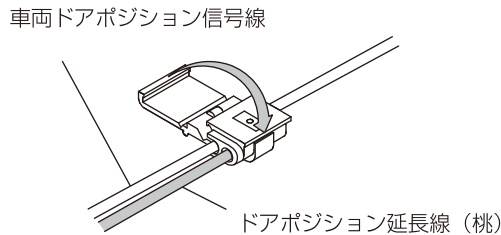
ドアロック、アンロックしない。

- 4-1** 動作確認でドアアンロックが作動しない場合、ドアポジション信号が必要となります。（一部車種のみ）※ドアポジション配線が必要なのは、おもにトヨタ車になります。



ドアロックノブを操作してロック時に12V、アンロック時に0Vになる線を探します。

- 4-2** **4-1** で探したドアポジション信号線にドアポジション延長線（桃）をエレクトロタップ（赤）で接続します。

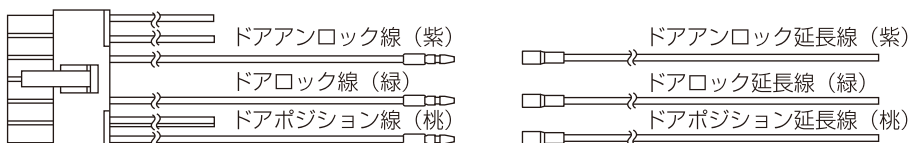


※確認（必ず行ってください）

エレクトロタップで接続後、ドアポジション延長線、ドアアンロック延長線をボディアースに接触させ、ドアアンロックが作動するか確認します。

- 5** 16Pハーネス・ドアロック線（緑）、ドアアンロック線（紫）をそれぞれの延長線と接続します。
※ドアポジション延長線を接続している場合は、同様に16Pハーネスと接続します。

16Pハーネス

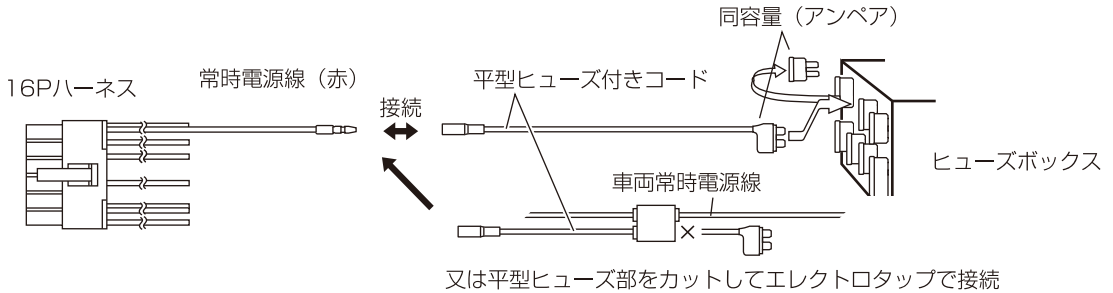


取付け/接続方法

◆取付け手順 7 常時電源配線

●付属の平型ヒューズ付きコードは、大小の2種類あります。車両のヒューズサイズに合わせてご使用ください。またヒューズを利用して配線できない場合は直接車両の常時電源線に配線してください。

・16Pハーネスの常時電源線（赤）に平型ヒューズ付きコードを接続し、車両の常時電源が取れるヒューズと差し換えます。
※必ず同じ容量（アンペア）のヒューズと差し換えてください。車両に同じ容量（アンペア）のヒューズが無い場合は、市販されている同じ容量のヒューズ付きコード等をご使用ください。

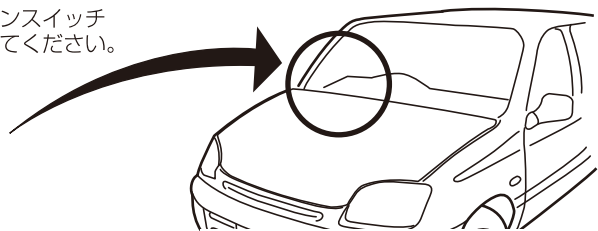
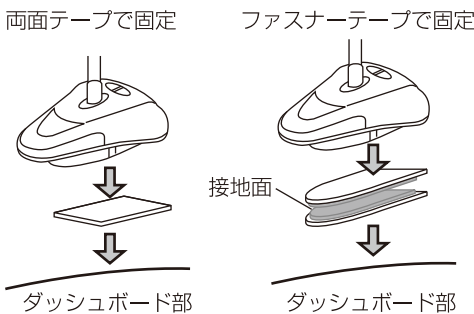


◆取付け手順 8 アンテナユニットの取付け接続

1 アンテナユニットの設置、固定は付属の両面テープ又はファスナーテープを使用して、車両のダッシュボード上にLED部が外から見える様に取付けます。

注意 ⚠ 運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。アンテナユニットファンクションスイッチで設定ができるように取付けてください。

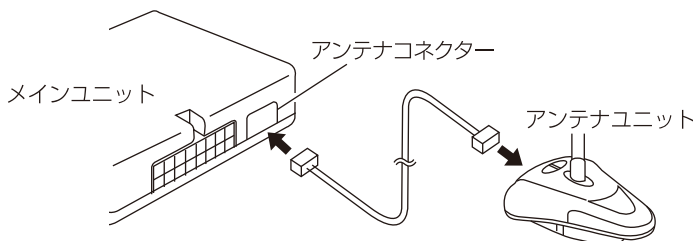
・アンテナユニットの取付け位置によりファンクションスイッチの設定ができない場合はファスナーテープで固定してください。



（取付け例：ダッシュボード運転席側）

※両面テープを使用する場合はアンテナユニットに合せて余分な部分を切って下さい。ファスナーテープを使用する場合はアンテナユニット側とダッシュボード側の接地面を合せた後、軽くアンテナユニットを左右に動かすことによりアンテナユニットが固定されます。

2 メインユニットのアンテナコネクタにアンテナ接続ケーブルを接続し、アンテナユニットに接続ケーブルの反対側を接続します。



※コネクタの差し込み位置を間違えると製品が故障する恐れがありますので注意して下さい。

取付け/接続方法

◆取付け手順 9 振動センサーユニットの取付け接続

1 車両への衝撃を平均的に検出するため、必ず車内の振動が伝わる固定されている場所へ確実に取付けてください。

・両面テープを適当なサイズにカットし、振動センサーユニットを樹脂、金属等の面へ固定します。
車両のボディサイズ・車体のボディの構造・取付け位置・振動を与える場所などによって振動センサーの感度は大きく影響します。

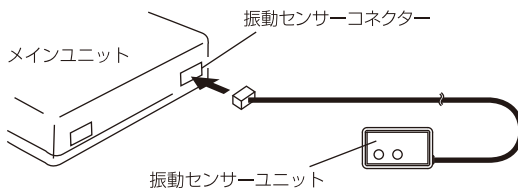
注意 ⚠

- ・中性洗剤で取付け面を拭き、油分を取り除いてから貼り付けてください。
- ・振動センサーVol.が手もと側（操作できる側）になるよう取付けてください。
- ・取付け、配線等はエアバック等車輛の機構部に影響がなく、運転の妨げにならない位置へ取付けてください。
- ・カーペット等の柔らかい面に取付しないでください。誤作動の原因になります。



※使用状況などにより振動センサーユニットのボリュームの調整が必要になる場合がありますので必ず簡単にボリュームが調整できるように見える場所に振動センサーユニットを取付けてください。

2 振動センサーユニットをメインユニットの振動センサーコネクタに接続します。



振動センサーの調整はP35→

取付け/接続方法

◆取付け手順 10 メインユニットの取付け接続

1 メインユニットに16Pコネクタを接続します。接続するとスピーカーから電子音が約1秒なります。

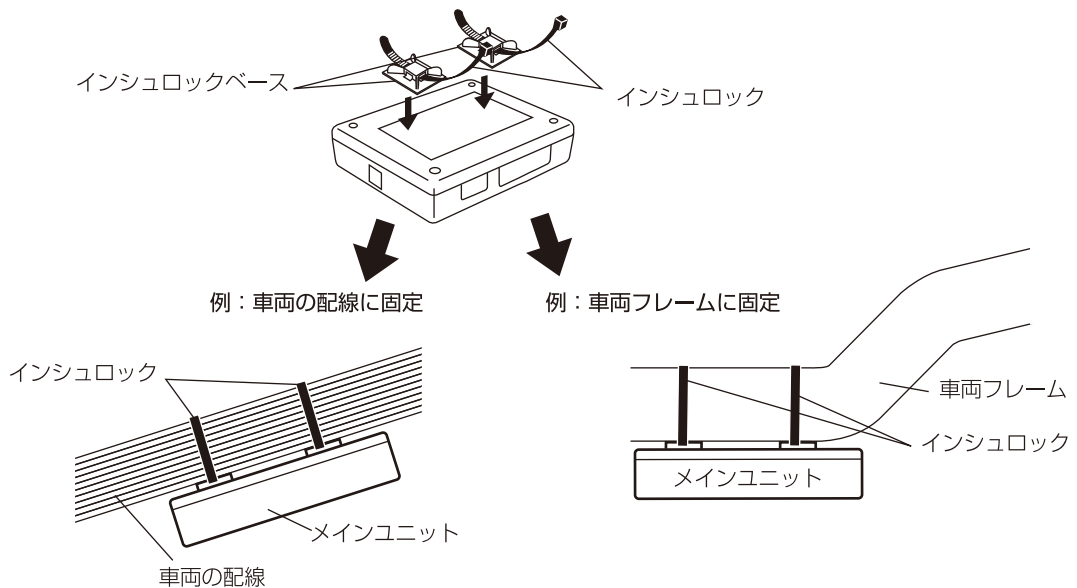


注. 16Pハーネスを差し込んだ時、約1秒電子音が鳴ります。

2 メインユニットに付属のインシュロックベースを貼り、インシュロックを使用して車内外から見えない場所に取付けます。

注意 ⚠

- ・中性洗剤で取付け面を拭き、油分を取り除いてから貼り付けてください。
- ・取付け、配線は車両の機構部（アクセルペダル、ブレーキペダル、ステアリングシャフト等）に影響がなく、運転の妨げにならない位置へ取付けてください。



※メインユニットには内部ブザーが入っていますので音の聞こえる範囲で取付けてください。

警報について

●警報音は『予備警報』と『本警報』に区別され共に新保安技術基準に対応した警報になっています。

◆スピーカー（予備警報）警報について

- センサーが作動し付属のスピーカーで警報を行います。
- 本製品の予備警報とは付属スピーカーから鳴る警報のことをいいます。

予備警報を行うセンサー	検出内容	
振動センサー	車の振動（衝撃）を検出し警報します。	
カーテシセンサー	車のドアスイッチなどに配線してドアオープンを検出し警報します。	
電圧センサー	車のドアが開きルームランプが点灯するなどバッテリー電圧が一瞬下がる電圧変化を検出し警報します。	
オプション	SS-059 カーテシセンサー複数線2	車のドアスイッチなどに配線してドアオープンを検出し警報します。
	SS-066 デジタル衝撃センサー	車の振動（衝撃）を検出し警報します。
	SS-067 ボンネット/トランクセンサー	ボンネットまたはトランクが開いたのを検出して警報します。
	SS-069 バックアップ電源ユニット	車のバッテリーが外された時などバッテリー電圧の遮断を検出し警報します。
	SS-070 マイクロ傾斜センサー	ジャッキアップ等による車の傾きを検出し警報をします。

◆車両ホーン（本警報）警報について

- センサーが作動し車両のホーンで警報を行います。
- 本製品のホーンとは車両のホーンから鳴る警報のことをいいます。

本警報を行うセンサー	検出内容
カーテシセンサー	車のドアスイッチなどに配線してドアオープンを検出し警報します。 ※設定によりスピーカー（予備警報）警報も同時に警報します。
オプション SS-067 ボンネット/トランクセンサー	ボンネットまたはトランクが開いたのを検出して警報します。 ※設定によりスピーカー（予備警報）警報も同時に警報します。

警報の切り替え

●警報種類によって重要な警報を優先して鳴らします。

優先順位の低いセンサー

※右にいくほど優先順位の高いセンサー

優先順位の高いセンサー

- ・振動センサー（弱い振動）
- ・振動センサー（強い振動）

・電圧センサー

- ・マイクロ傾斜センサー※1
- ・バックアップ電源ユニット※1

- ・カーテシセンサー
- ・ボンネット/トランクセンサー※1

※1はオプション

例、振動センサー警報中に、ドアを開けられカーテシセンサーが反応した場合は、振動センサーの警報中でもカーテシセンサーの警報に切り替わります。

※優先順位の低いセンサー（振動センサーなど）警報中に優先順位の高いセンサー（カーテシセンサーなど）が異常を検出した場合優先順位の低い警報を止めて優先順位の高いセンサーの警報を鳴らします。ただし電圧センサーは他のセンサー警報中は作動せず警報は行いません。

・別売バックアップ電源ユニット作動中（車のバッテリーが外れた状態）はカーテシセンサーなど作動しないセンサーがあります。

・オプションは各オプションにより優先順位は異なります。

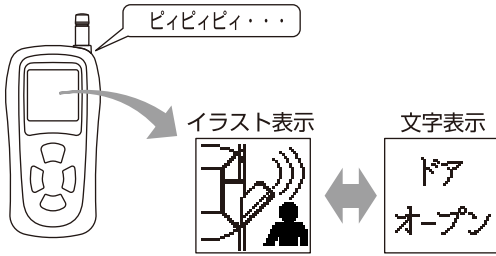
警報について

◆リモコン警報

- セキュリティ作動中（監視中）車のセンサーが信号を検出するとアンサーバックによりリモコンで音と文字、イラストでお知らせします。

図1.

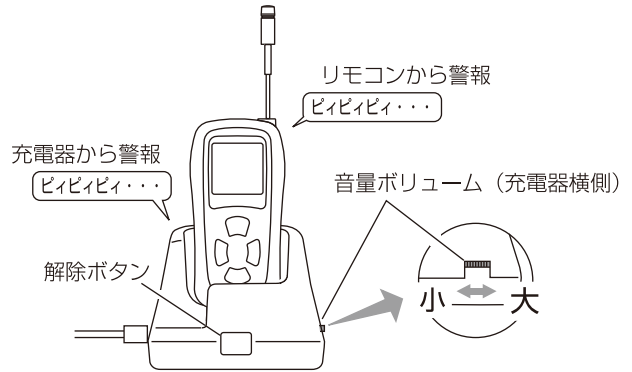
例：カーテシセンサーを検出した時（配線時）



- ・イラスト表示と文字表示（日本語又は英語）で交互に10秒間点滅しリモコンから警告音が10秒間鳴り続けます。

○充電器で充電中のリモコン警報

- ・X7000のリモコンを充電器で充電中に警報があった時、(図1)の動作を行い同時に充電器からも警報音が鳴ります。



- ・リモコンのボタンを押し充電器から音が鳴っている時に音量ボリュームで調整します。解除ボタン側に回すと音量が小さくなり反対側に回すと音量が大きくなります。
※音量ボリュームの音量を小さくしてもリモコンの警報は小さくなりません。

- ※リモコン警報音、充電器警報音、警報時間はリモコン音の設定（P30）によって変わります。（アラーム音設定時約10秒、メロディ設定時約7秒）
- ・警報中に充電器からリモコンを外すと充電器の警報は止まります。
- ・リモコン音の設定（P30）を無音にすると充電器からの警報音は鳴りません。
- ・充電器にACアダプターを接続しないでリモコンを充電器に置いて警報はリモコンのみで充電器からは警報は鳴りません。
- ・充電器の音量を設定する前にリモコン音の設定（P30）を無音以外に設定してから行って下さい。
- ・リモコンのアンテナを伸ばすことにより電波の飛びが変化しますのでセキュリティ作動中はできるだけアンテナを伸ばした状態にしてください。

- リモコンの表示はセンサー別にイラストと文字表示を交互に行います。

◇振動センサー（衝撃弱）

※オプションデジタル振動センサー含む

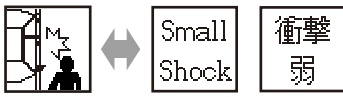
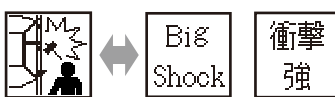


イラスト 英語 日本語

◇振動センサー（衝撃強）

※オプション含む



◇電圧センサー



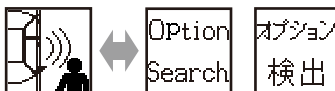
◇カーテシセンサー（ドアオープン）

※オプションカーテシ複数線含む



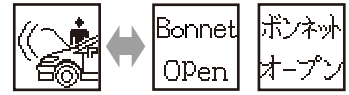
◇オプションセンサー（オプション）

- ・マイクロ傾斜センサー
- ・バックアップ電源ユニットなど



◇ボンネット/トランクセンサー（オプション）

- ・ボンネット配線の場合



- ・トランク配線の場合



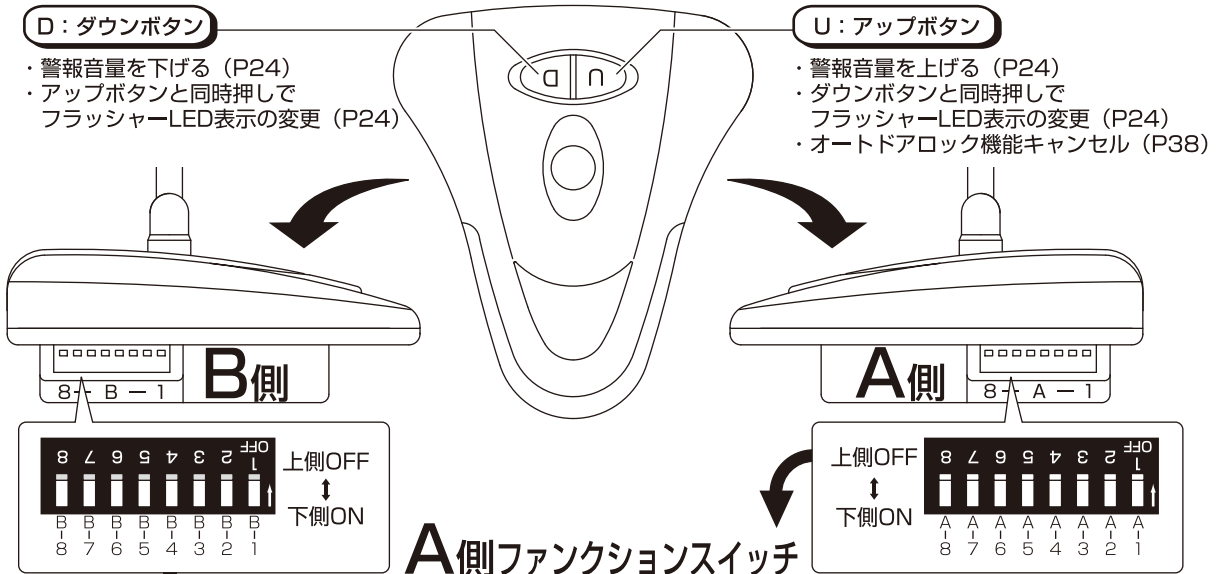
- ※オプションを追加接続した場合の表示は各オプションによって表示が異なります。

アンテナユニットの設定/使い方

◆アンテナユニットスイッチの設定一覧

※ファンクションスイッチの設定は付属の調整ドライバーで行ってください。

- アンテナユニットの設定の前に
全てのファンクションスイッチの設定はセキュリティ停止状態（ストップ）で行ってください。
リモコンでスタート（監視状態に）した時にファンクションスイッチの設定が有効になります。



スイッチ NO	初期状態	内容
A-1	ON	
A-2	OFF	スピーカー（予備警報）の設定 (P21)
A-3	OFF	
A-4	OFF	スピーカー（予備警報）警報回数設定 (P22)
A-5	OFF	車両ホーン（本警報）の設定 (P22)
A-6	OFF	
A-7	OFF	
A-8	OFF	キャンセルタイマー設定 (P22)

B側ファンクションスイッチ

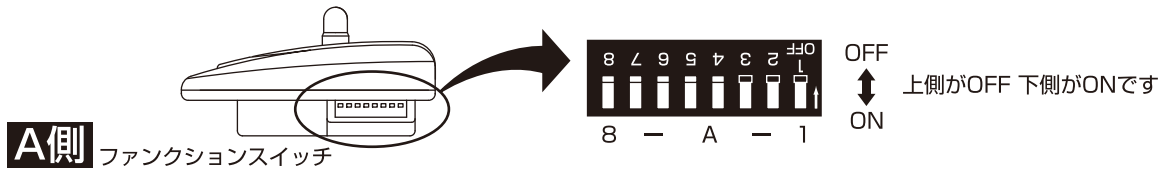
スイッチ NO	初期状態	内容
B-1	ON	スタート/ストップ音の設定 (P23)
B-2	OFF	
B-3	OFF	スタート/ストップ時のハザード機能設定 (P23)
B-4	OFF	警報時のハザード機能設定 (P23)
B-5	ON	振動センサー（標準装備）のON/OFF設定 (P24)
B-6	OFF	電圧センサー（標準装備）のON/OFF設定 (P24)
B-7	OFF	オプションのON/OFF設定 (P24)
B-8	OFF	オートドアロックカーテシ検出 (P24)

⚠ 車検の時は・・・
ファンクションスイッチを初期状態（出荷状態）で車検に出してください。

アンテナユニットの設定/使い方

◆スピーカー（予備警報）警報音の設定

●アンテナユニットのA側ファンクションスイッチの設定によってスピーカーの警報音を8通りに設定できます。



A側 ファンクションスイッチ

警報音の種類	ファンクションスイッチの設定	警報音の鳴り方	
スピーカー音無し	A-1・・・OFF A-2・・・OFF A-3・・・OFF	スピーカー警報音を鳴らしません	
電子音	A-1・・・ON A-2・・・OFF A-3・・・OFF	振動センサー（弱い振動）	電子音 約1秒
		振動センサー（強い振動）	電子音 約5秒
		電圧センサー	電子音 約30秒
		オプション ※オプションによって異なります。	電子音 約30秒
日本語A	A-1・・・OFF A-2・・・ON A-3・・・OFF	カーテシセンサー	電子音 約30秒
		振動センサー（弱い振動）	注意してください
		振動センサー（強い振動）	注意してくださいセキュリティシステムが作動しています
		電圧センサー	電圧異常を検出しました+電子音30秒
日本語B	A-1・・・OFF A-2・・・ON A-3・・・OFF	オプション ※オプションによって異なります。	車両異常を検出しました+電子音30秒
		カーテシセンサー	ドアオープン検出しました直ちに車から離れてください +電子音30秒
		振動センサー（弱い振動）	車両衝撃検出
		振動センサー（強い振動）	車両衝撃検出管理者へ通報します
日本語C	A-1・・・OFF A-2・・・OFF A-3・・・ON	電圧センサー	電圧異常検出管理者へ通報します+電子音30秒
		オプション ※オプションによって異なります。	車両異常検出管理者へ通報します+電子音30秒
		カーテシセンサー	ドアオープン検出しました管理者へ通報します +電子音30秒
		英語C	A-1・・・ON A-2・・・ON A-3・・・OFF
英語D	A-1・・・ON A-2・・・OFF A-3・・・ON	日本語Bを英語で警報します	
中国語E	A-1・・・OFF A-2・・・ON A-3・・・ON	日本語Aを中国語で警報します	
中国語F	A-1・・・ON A-2・・・ON A-3・・・ON	日本語Bを中国語で警報します	

※警報中でもイグニッションキーをACC又はONの位置にすると警報は鳴らなくなります。アンテナユニットのLED表示は設定した監視状態になります。

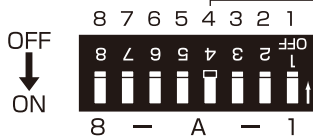
・オプションの警報は各オプションにより警報音、警報時間が異なります。

アンテナユニットの設定/使い方

◆スピーカー（予備警報）警報回数の設定

- 長い間車を使用しない時など、検出しやすい各センサー（振動、電圧、その他オプション等）が何度も鳴り続けられないようにできます。

A側 ファンクションスイッチ



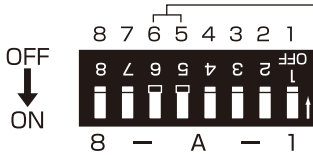
ファンクションスイッチ		作動内容
A-4		
OFF		警報回数に関係なく鳴らす
ON		10回まで警報を鳴らし11回以上は鳴らなくなる ※

※ただしカーテシセンサー、ボンネット/トランクセンサー（オプション）は設定してもOFFになりません。11回目からはスピーカー警報（予備警報）は行いませんが車両ホーン警報（本警報）は行います。

◆車両ホーン（本警報）警報音の設定

- アンテナユニットのA側ファンクションスイッチの設定によって車両ホーン警報音の長さを設定できます。
- ホーン警報は以下のセンサーで警報します。
 - ・カーテシセンサー
 - ・ボンネット/トランクセンサー（オプション）

A側 ファンクションスイッチ



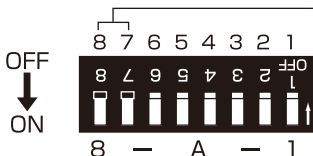
ファンクションスイッチ		作動内容
A-5	A-6	
OFF	OFF	30秒間、間欠警報を鳴らします
ON	OFF	20秒間、間欠警報を鳴らします
OFF	ON	10秒間、間欠警報を鳴らします
ON	ON	短く1回警報を鳴らします

※オプションによって車両ホーン警報が鳴る場合があります。
 ・モード設定（P30）でサイレントモードに設定した場合はスイッチの設定（B-5/6）に関係なく車両ホーン警報は短く1回警報を鳴らします。

◆キャンセルタイマーの設定

- アンテナユニットのA側ファンクションスイッチの設定によってキャンセルタイマーを設定できます。
- キャンセルタイマーとは・・・エンジン停止後、車両の電装品が動作していてもセキュリティをスタート後、設定時間以内であれば警報を行いません。

A側 ファンクションスイッチ



ファンクションスイッチ		作動内容
A-7	A-8	
OFF	OFF	20秒
ON	OFF	40秒
OFF	ON	60秒
ON	ON	機能OFF（0秒）

※キャンセルタイマー作動中はフラッシャーLEDは全て点滅します。
 ※セキュリティ作動中にエンジンスターターなどでアクセサリ又はイグニッションが一度ONになりその後アクセサリがOFFになるとキャンセルタイマーの設定がOFFでも20秒のキャンセルタイマーが作動します。（アクセサリ検出配線P9を配線時）

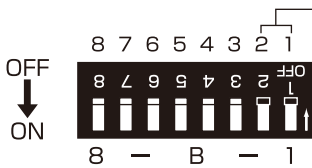
アンテナユニットの設定/使い方

◆スタート/ストップ音の設定

※ドアロック/アンロック時（連動時）の設定も含まれます。

- アンテナユニットのB側ファンクションスイッチの設定によってスタート/ストップ音の設定ができます。

B側 ファンクションスイッチ



ファンクションスイッチ		作動内容
B-1	B-2	
OFF	OFF	音のお知らせOFF
ON	OFF	電子音にてお知らせ
OFF	ON	日本語にてお知らせ
ON	ON	英語にてお知らせ

※モード設定により日本語、英語の内容がかわります。

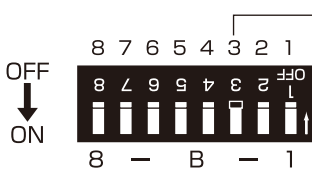
例.スタンダードモードで日本語設定した場合・・・”スタンダードモードスタート”とスピーカーから鳴ります。

◆スタート/ストップ時のハザード機能設定

※オプション Be-968アンサーフラッシュリレーが必要です。

- アンテナユニットのB側ファンクションスイッチの設定によってスタート/ストップ時のハザード機能を設定できます。

B側 ファンクションスイッチ



ファンクションスイッチ		作動内容
B-3		
OFF		使用しない
ON		使用する スタート/ロック時 1回点滅します ストップ/ドアアンロック時 2回点滅します

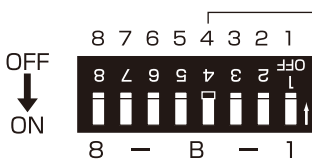
※アンサーフラッシュリレーBe-968を車両のハザードに配線した時にハザードが点滅するようになります。

◆警報時のハザード機能設定

※オプション Be-968アンサーフラッシュリレーが必要です。

- アンテナユニットのB側ファンクションスイッチの設定によって警報中にハザードを点滅させる機能を設定できます。

B側 ファンクションスイッチ



ファンクションスイッチ		作動内容
B-4		
OFF		使用しない
ON		使用する 全ての警報中2秒おきに点滅させます

※・警報音が鳴らないような設定（P21）又はサイレントモード（P30）にした場合はスイッチ設定ONの場合、必ずハザードは1回点滅します。

・2秒以内の短い警報設定でも警報したら1回はハザードが点滅します。

・アンサーフラッシュリレーBe-968を車両のハザード配線した時のみハザードが点滅するようになります。

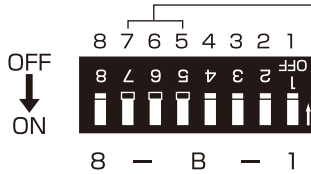
アンテナユニットの設定/使い方

◆その他の設定

※リモコンによるモード設定（P30）でセンサーを設定してもアンテナユニットの設定が優先されます。

- 各センサーのON/FF設定できます。

B側 ファンクションスイッチ

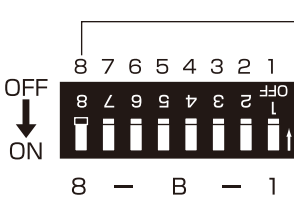


※ファンクションスイッチ ON・・・センサーを使用する
OFF・・・センサーを使用しない

ファンクションスイッチ	作動内容
B-5	振動センサー（オプション振動センサー含む）
B-6	電圧センサー
B-7	その他オプション※1

※1.オプションによっては（カーテシ、ボンネット/トランクセンサーなど）ON/OFFできない場合もあります。

- カーテシ配線をキー照明、ルームランプ等で配線した場合一部車両でドアアンロック時にランプが点灯しドアが開いたと認識してオートドアロック機能（P38）が解除されますので、解除しないようにする設定スイッチです。



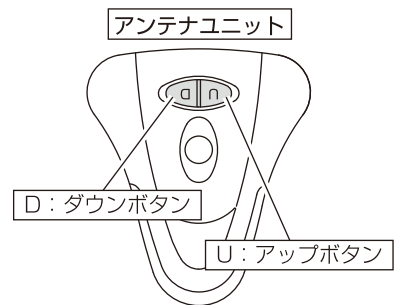
ファンクションスイッチ	作動内容
B-8	
OFF	カーテシ検出（ドアオープン）によりオートドアロックを解除（ロックしない）する。
ON	カーテシ検出（ドアオープン）してもオートドアロック機能を作動（ロックする）させる。

◆スピーカーの音量設定

※X7000の停止状態で音量設定を行ってください。

- スピーカー音の音量を6段階までアンテナユニットのスイッチで調整できます。押すたびにスピーカーから設定音が鳴りますので直接音量を確認できます。
- ・アップボタンを押すたびにスピーカーから電子音が1回鳴り音量が上がります。一番上まで上がると電子音が2回鳴り音量が上がらなくなります。
- ・ダウンボタンを押すたびにスピーカーから電子音が1回鳴り音量下がります。一番下まで下がると電子音が2回鳴り音量下がらなくなります。

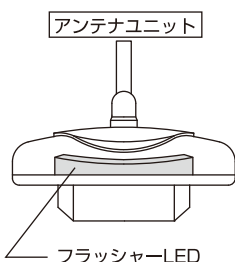
※音量を一番下まで下げても無音にはなりません。無音にする場合はP21「◆スピーカー（予備警報）警報音の設定」で設定を行ってください。



◆フラッシャー表示の変更設定

※X7000の停止状態で設定を行ってください。

- アンテナユニットの監視状態（作動中）のフラッシャーLED表示を8種類から選択することができます。
- ・アップボタンとダウンボタンを同時に押しはなすとメインユニットから内部ブザーが1回なりLED表示が変更して表示します。くり返し続けると項目1▶2▶3・・・の順に変更します。項目8になるとメインユニットの内部ブザーが2回鳴ります。操作を続けると項目8の次は項目1になります。



※選択したら数秒後に自動的に設定されます。

項目	ブザー音	表示内容
1	ビッ	中央が2個点滅
2	ビッ	1個のLEDが移動しながら点滅
3	ビッ	2個のLEDが中央から移動点滅
4	ビッ	3個のLEDが左右に移動
5	ビッ	複数パターン1
6	ビッ	複数パターン2
7	ビッ	複数パターン3
8	ビィビィ	表示なし

注.メインユニットの取付ける場所によりブザー音が聞こえにくくなる場合があります。

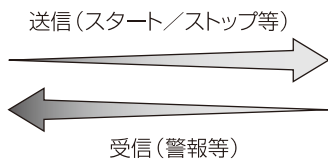
リモコンについて



- ・本リモコンは防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手でのご操作は避けてください。又、リモコン内部に水分が浸入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。
- ・本リモコンは充電式です。出荷時は充電済みの状態ですが、自然放電する場合があります。ご使用前に必ず充電を行ってください。
- ・本リモコンはアンサーバックタイプを採用し、お車の異常をリモコンでお知らせしますが、鞆や機の引出しの中や金属の上等に置くと電波を受信できなくなる場合があります。
- ・当社エンジンスターター（BeTime）のリモコンと本リモコンを併用して使用しないでください。誤動作の原因となります。

◆アンサーバックについて

- 本製品は、リモコンとアンテナユニット間で互いに送受信を行い本機のスタート/ストップや各センサーの反応があった時、リモコンへお知らせします。



※同じ周波数帯の電波が周辺に出ている場合はリモコンから音が『ブップッ』と鳴り送信を行いません。

◆リモコンご使用前に

※リモコンを使用する前に必ずリモコンを充電（P26参照）してください。

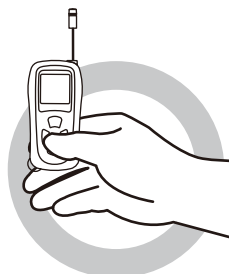
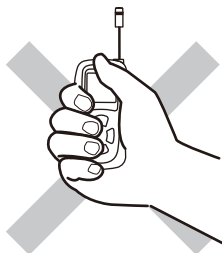
- 商品出荷時は電池の消耗を防ぐ為、電池を外して、リモコン電源OFFの状態です。ご使用時はリモコンに電池を入れ電源ON状態（P26）でご使用ください。また長期間使用しない場合（車を使わない旅行等）は、電池の消耗を防ぐ為リモコンの電池を外すことをお勧めします。

○充電電池の入れ方 ※リモコンに電池を入れた後、リモコンを使用する前に充電してからID登録（P37）を行ってください。

<p>1</p> <p>ドライバーでリモコンの裏フタのビスを回し外し裏フタを上（ビス側）から外します。</p> <p>ドライバー</p>	<p>3</p> <p>ツメ側から裏フタを入れてビスをドライバーで回し取付けて下さい。</p> <p>ビス</p> <p>ドライバー</p> <p>リモコン裏フタ</p> <p>ツメ側</p>
<p>2</p> <p>リモコン充電電池の2Pコネクタをリモコンの2Pコネクタに差し込みリモコン電池をリモコンに納めます。</p> <p>2Pコネクタ</p> <p>リモコン電池</p> <p>注.2Pコネクタは極性がありますのでコネクタの凹凸に合わせて差し込んで下さい。</p>	<p>※リモコン裏フタをしめる（閉じる）時はリモコン電池の配線を裏フタに挟まないように注意してください。</p> <p>注.あまりビスを強くシメ過ぎるとケースが壊れますので注意してください。</p>

◆リモコン操作方法

- リモコンを操作する場合は、電波の送信性を安定させる為に必ずアンテナをのばし、リモコンケースを手で包み込む事のないように操作してください。



リモコンについて

◆リモコンの充電方法

※充電中でもリモコン操作、警報の受信はできます。

●充電について

- ・本製品はトリクル充電式です。満充電するのに電池残量が全くない状態から(めやす)約4時間かかります。
 - ・満充電後、更に充電を続けても問題はありませんが、充電完了後はすみやかに充電器又は専用ACアダプターを外してください。
 - ・満充電後、再度充電を行っても残り電池残量にかかわらず約4時間は充電を行います。
 - ・リモコンの電池は約7日間(無警報、連続監視状態)使用できます。
- ※使用頻度、リモコンの警報回数等により短くなる場合があります。
- ・リモコンは充電状態でも、アンサーバック機能は働いています。アンテナを伸ばした状態で、本体からの電波が受信可能な場所で充電を行ってください。また、充電器にセットした状態ですとリモコンと充電器から警報を鳴らします。

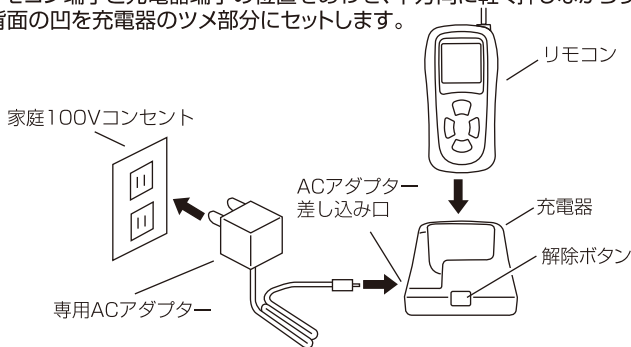
○充電の方法

※充電中セキュリティを作動させている時はアンテナを十分伸ばして充電してください。

◆充電器での充電

- ・リモコンを充電器にセットします。
- ・専用ACアダプターを充電器に接続し、コンセントへ差込みます。

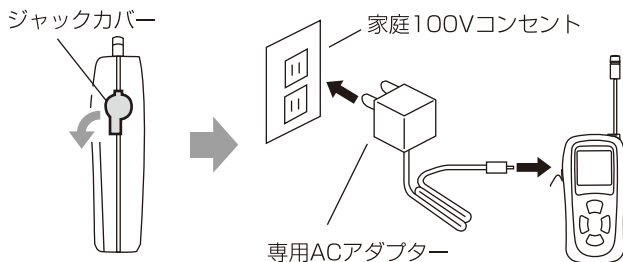
リモコン端子と充電器端子の位置をあわせ、下方向に軽く押しながらリモコン背面の凹を充電器のツメ部分にセットします。



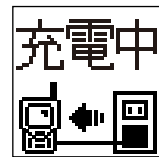
※充電器からリモコンを外す時は必ず解除ボタンを押しながらリモコンを上へ抜いて(持ち上げて)ください。

◆直接リモコンへの充電

- ・リモコンのジャックカバーを外し、ACアダプターをリモコンに差し込みます。
- ・専用ACアダプターをコンセントへ差込みます。



- ◆充電を開始するとリモコンから電子音が鳴り表示部に"充電中"と表示されます。

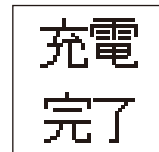


緑色にバックライトが点滅します



約4時間後

- ◆充電が終了すると表示部に"充電完了"と表示されます。



文字だけが表示されます

- ・充電を開始してもすぐに文字の表示がしない場合もありますが、異常ではありません。
- ・リモコンの表示は表示の設定 (P31) によって英語表示にもなります。

⚠ 4時間以上経過しても「充電完了」と表示されない場合がありますが異常ではありません。約4時間以上充電すればフル充電になります。

注意 ・充電器には必ず本製品の専用ACアダプターをご使用ください。

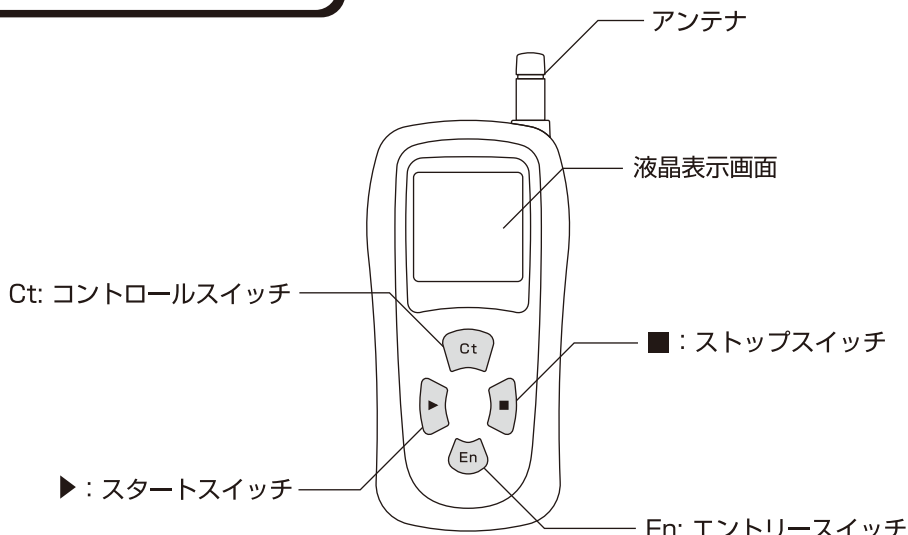
- ・セキュリティ作動中、リモコンの電池残量がなくなるとリモコンの電源がOFFになり警報を行いません。リモコンの充電を行い リモコン電源を ONにしてセキュリティを再度スタートさせリモコンに **ON** 表示 (P28) をさせてください。
- ・充電は必ず家庭用電源 (AC100v) で行ってください。
- ・充電器を水気や、湿気の多い場所には設置しないでください。又、濡れた手で充電器、専用ACアダプターに触れないでください。
- ・充電器の端子に触れないでください。又、金属片やゴミ等が端子に触れない様にしてください。
- ・充電器に異常 (発煙・発火・異臭等) が発生した場合、ただちに電源を抜き、使用を中止してください。
- ・リモコンにキーホルダー等を取付けている場合、充電器の端子に触れないようにしてください。
- ・充電中は充電器の音量の調整以外の時はリモコン操作をしないでください。
- ・充電を行っていない時は専用ACアダプターをコンセントから抜いてください。

●電池交換について

- ・リモコン電池は、ニッケル水素電池を使用しています。充電を行っても作動しない等の状態が頻繁におこるようであれば電池の寿命が考えられます。お近くの商品取扱いの販売店でお買い求め上、電池交換して下さい。また、交換した電池はリサイクル可能なニッケル水素電池ですので、販売店にお渡しください。ご不明な点がございましたら、弊社サービス部までお問い合わせ下さい。

リモコンについて

◆リモコンの操作一覧



◆リモコン操作一覧

操作内容		動作内容	詳細ページ
操作1	操作2		
En長押し		電源スイッチ ON/OFF	P28
En	▶	セキュリティスタート (ドアロック連動)	P29
En	■	セキュリティストップ (ドアアンロック連動)	P29
■	En	セキュリティストップ	P29
Ct	Ct	モードの設定	P30
▶長押し		リモコン音の設定	P30
■長押し		リモコン表示の設定	P31
Ct	En	パニックアラーム	P31
En	Ct	履歴表示	P31
Ct長押し		圏内/圏外表示	P32
▶	▶	ドアロック	P32
■	■	ドアアンロック	P32
Ct	▶	エンジンスタータースタート	P34
Ct	■	エンジンスターターストップ	P34
En	En	リモコンID登録 1 (エンジンスターターID登録)	P37 (P33)
▶	■	⚠ 追加リモコンID登録 2	P37 (P33)
■	▶	追加リモコンID登録 3	P37

※操作1 を押し液晶表示されている間に操作2を行ってください。
操作1 のボタンを押すと始めに待ち受け画面 (P28) が表示されます。

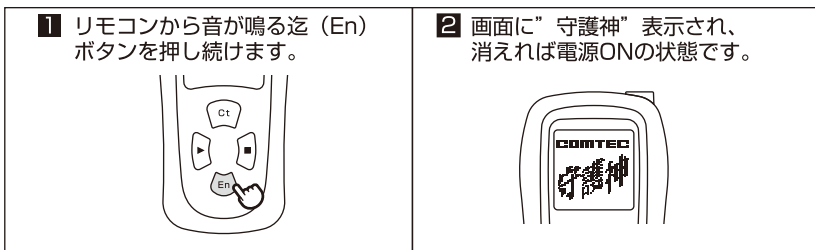
⚠ BeTimeにX7000のリモコンを登録する時は必ずID登録1操作で登録し登録後、X7000のメインユニットにはID登録2の操作で登録し直してください。

リモコンについて

◆電源の入れ方

※使用しない時は電源をOFFにすると内蔵電池が長く使用できます。

●リモコンの操作は電源を入れてから行います。



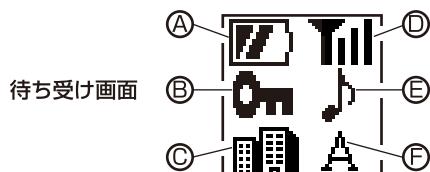
◇電源をOFFにするには
リモコンから音が鳴る迄 (En) ボタン
を押し続けます。画面に“ Bye ” 表示
され、消えれば電源OFFの状態です。

※X7000を使用しない時はリモコンの電源をOFFにしてください。または長期リモコンを使用しない時はリモコンの電池を取りはずしてください。

- ・リモコン電源をOFFにするとリモコンの警報は鳴りません。
- ・リモコンの電池残量がなくなった場合、リモコンの電源は切れます。充電した後リモコンの電源を入れてください。

◆待ち受け画面の説明

●最初にボタンを押すと待ち受け画面が表示され現在のリモコンの設定が表示されます。



⚠ 通常、液晶画面はスイッチを押さない
限り何も表示されません。

① 電池残量表示

リモコンの電池残量を表示します。

満充電です	電池残量に問題は ありません	早めに充電をし て下さい	充電して下さい すぐにリモコン が作動しなくな ります。

⚠ 注意
電池残量表示は正確な物ではなく電池残量が
ばらつく場合がありますので目安としてお使
いください。

② セキュリティ作動表示

現在セキュリティが作動しているか表示します。セキュリティが作動していると鍵のマーク が点灯しセキュリティが停止していると鍵のマークは消灯します。

点灯 セキュリティ 作動中	消灯 セキュリティ 停止中
-------------------------	-------------------------

⚠ 注意
リモコンにカギのマークが点灯 (待ち受け画面時) していないと、セキ
ュリティが作動していても、リモコン警報は行いません。追加リモコン
又はBeTimeリモコンでX7000を作動した場合も作動させたX7000の
リモコンしか警報は行いません。リモコンから警報を鳴らしたい場合は
必ず警報を鳴らしたいリモコンでX7000を再度作動させて下さい。

③ モード表示 (P30)

何のモードでセキュリティを作動 (スタート) するかを表示します。
※現在作動しているモードではありません。

④ 圏内/圏外表示 (P32)

リモコン操作により車から電波の届く範囲にリモコンがあるかを表示します。

⑤ リモコン音表示 (P30)

現在のリモコンアンサーバック音の設定を表示します。

⑥ リモコン文字表示 (P31)

現在のリモコン文字表示言語の設定を表示します。

リモコンについて

◆セキュリティのスタート/ストップ




※ドアロック/アンロック機能が
が連動して作動します。

- 付属のリモコンでセキュリティのスタート/ストップ（ドアロック/アンロック）を行います。
作動の確認を文字と音でお知らせします。

○セキュリティのスタート（ドアロック機能連動） ※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください。

<p>1 リモコンの (En) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に (▶) ボタンを押します。</p> 	<p>2 電波が届いてセキュリティがスタート（作動中）になるとリモコン液晶表示が緑色で“OK!”と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で“NG!”と表示されます。</p>  <p>作動した時</p>  <p>電波が届かなく 作動しなかった時</p>
--	--

○セキュリティのストップ（ドアアンロック機能連動） ※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください。

<p>1 リモコンの (En) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に (■) ボタンを押します。</p> 	<p>2 電波が届いてセキュリティがストップ（停止）になるとリモコン液晶表示が緑色で“OK!”と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で“NG!”と表示されます。</p>  <p>停止した時</p>  <p>電波が届かなく 停止しなかった時</p>
--	---


- ※セキュリティをスタートした時、キャンセルタイマー作動中にもう一度セキュリティスタートの操作をするとキャンセルタイマー機能が解除されすぐにセキュリティが作動します。
- ・リモコン音の設定で操作音、アンサーバック音は違います。
- ・電波の状況によってセキュリティが作動してもリモコンに“OK!”と表示されないことがありますので、その時はもう一度リモコンでスタートさせてください。
- ・BeTimeのリモコンでセキュリティを作動させた場合はスタンダードモード（P30）で作動します。
- ・ドアロック配線がしてある場合はオートドアロック機能（P38）が作動します。
- ・アンテナユニットのLEDが全部点灯している時は本体のIDが消失しますのでID登録をして下さい。（P37）
- ・警報を止めたい時に上記の操作でセキュリティをストップするとドアロック配線がしてある場合、アンロック操作が連動で作動しますので注意してください。

◆セキュリティのストップ

※ドアアンロック機能は作動しません。

- 警報中やセキュリティのみの作動を止めたい時に操作を行います。

○セキュリティのストップ ※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください。

<p>1 リモコンの (■) ボタンを押し、液晶表示中に (En) ボタンを押します。</p> 	<p>2 電波が届いてセキュリティがストップ（停止）になるとリモコン液晶表示が緑色で“OK!”と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で“NG!”と表示されます。</p>  <p>停止した時</p>  <p>電波が届かなく 停止しなかった時</p>
--	---

- ※・リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います。

リモコンについて

◆モードの設定

※BeTimeリモコンでセキュリティをスタートするとスタンダードモードになります。
・車検を受ける時は必ずスタンダードモードに設定してください。

●車を止めた環境によってセンサーのON/OFFや警報音の調整がリモコンの設定で簡単にできます。

○モード内容

モードの種類	待ち受け画面	車を止めた状況	作動するセンサー	スピーカー警報 (予備警報)	車両ホーン警報 (本警報)
スタンダードモード		通常使用の時に	全てのセンサー	検出したセンサーの警報を鳴らします	車両ホーン警報音の設定 (P22) で鳴ります
サイレントモード		昼間、静かな住宅街に止めた時など	全てのセンサー	警報しません ※1	全ての設定に関係なく短く1回なります
シティモード		車の交通量が多く振動など受けやすい時など	振動センサーのみOFF	検出したセンサーの警報を鳴らします	車両ホーン警報音の設定 (P22) で鳴ります
ナイトモード		夜、警報音を下げたい時など	全てのセンサー	作動中、全てのスピーカー音量を最小で鳴らします	車両ホーン警報音の設定 (P22) で鳴ります

※1.リモコンアンサーバック警報は行います。

○モード設定操作方法

1 リモコンの (Ct) ボタンを押し、液晶表示中にもう一度 (Ct) ボタンを押します。

2 操作**1**をくり返すと表示が変わり、設定したいモードで操作を止めます。セキュリティをスタートした時、設定したモードで作動します。

順番に表示が変わります

- ▶ スタンダードモード
- ▼ サイレントモード
- ▼ シティモード
- ▼ ナイトモード

※アンテナユニットのセンサー設定 (P24のその他の設定) が優先されます。

- ・リモコンの警報は作動しているセンサーが反応した場合、全て警報を行います。
スタート/ストップ音の設定 (P23) で日本語又は英語設定にした場合、音声でモード設定の内容が他の人に確認されてしまう為、注意して下さい。
- ・スピーカー音量を最小にした場合ナイトモードでスタートしてもスピーカー音量は変わりません。
- ・モードを設定してスタートしても、追加リモコンなどで違うモードで再度スタートした場合、再度スタートしたモードが優先になります。
- ・リモコン音の設定で操作音は違います。

◆リモコン音の設定

●リモコンの操作音、アンサーバック音を無音、アラーム、メロディに変更することができます。

1 リモコンの (▶) ボタンを音がするまで長押しします。

2 操作**1**をくり返すと表示が変わり (音も変わります) 設定したい項目で操作を止めます。

◇順番に表示が変わります

設定	リモコン音	待ち受け画面表示
無音	ピッ	OFF
アラーム音	ピッピッ	
メロディ音	ドレミレド	

※画面表示は設定により日本語、英語になります。

※リモコン操作音はメロディ設定でもアラーム音が鳴ります。

リモコンについて

◆リモコン表示の設定

●リモコンの表示を日本語、英語に変更することができます。

1 リモコンの (■) ボタンを待ち受け画面から表示が変わるまで長押しします。

2 操作**1**をくり返すと表示が変わり (音も変わります) 設定したい項目で操作を止めます。

◇順番に表示が変わります

設定	リモコン音	待ち受け画面表示
日本語表示	ピッ	あ
English Screen (英語表示)	ピッピッ	A

※リモコン音の設定で操作音は違います。

◆パニックアラーム機能

※パニックアラーム警報中は全てのセンサーは作動しません。

●車内で危険を感じて周囲に知らせたい時、車に不審者が近付いた時などリモコン操作でスピーカーから電子音30秒と同時に車両ホーンを短く3回、鳴らすことができます。

1 リモコンの (Ct) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に (En) ボタンを押します。

2 電波が届いてパニックアラームが作動するとリモコン液晶表示が緑色でイラスト表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で”NG!”と表示されます。

パニックアラームが作動した時

電波が届かなく作動しなかった時

※パニックアラーム警報を止めたい時は、リモコンでセキュリティストップ操作 (P29) を行って下さい。

※リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います。又、画面表示は設定により日本語、英語になります。

- ・エンジン始動中、イグニッションキーがACC又はONの位置にある時はパニックアラーム機能は作動しません。
- ・警報中にパニックアラームを作動させると鳴っている警報はキャンセルされ、パニックアラームが鳴ります。
- ・パニックアラーム作動中はアンテナユニットのLEDとフラッシュライトが点滅します。
- ・スピーカーと車両ホーンはどちらかだけ鳴らしたり、消音することはできません。

◆履歴表示

●リモコンに警報があった時、何の警報だったかリモコンで確認ができます。

1 リモコンの (En) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に (Ct) ボタンを押します。

2 リモコンに何の警報があったか一つの履歴を表示します。

例：カーテシセンサー検出時 (配線時)

- ・履歴があった場合
- ・履歴がなかった場合

イラストと文字を交互に表示します

何も表示はしません

※リモコンでセキュリティをスタートすると履歴がリセットされます。

※警報が続けてあった場合は新しい警報の履歴が表示され一つ前の履歴は消失します。

- ・リモコン音の設定で操作音は違います。
- ・画面表示は設定により日本語、英語になります。

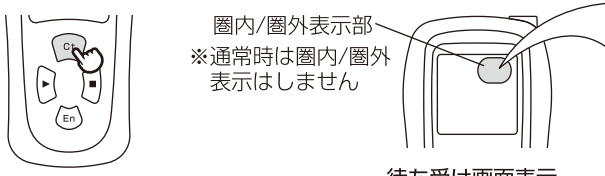
リモコンについて

◆圏内/圏外表示

※電波状況やリモコンの状態（アンテナや電池残量など）によって同じ場所でも始めは電波が届いても届かなくなる可能性があります。

- リモコン操作した時のアンサーバックで車のアンテナとリモコンの電波が届く範囲にあるか確認できます。


1 リモコンの (Ct) ボタンを待ち受け画面表示内の圏内/圏外表示がする迄長く押します。



圏内/圏外表示部
※通常時は圏内/圏外表示はしません


待ち受け画面表示

○圏内の場合



車のアンテナとリモコンの電波が届く範囲の場合、左のイラストが表示されます。

○圏外の場合



車のアンテナとリモコンの電波が届かない場合、左のイラストが表示されます。

※始めは電波が届いたが電波状況や環境によって突然電波が届かなくなることがあります。

- ・リモコン音の設定でアンサーバック圏内/圏外音は違います。
- ・リモコン操作してから電波で確認している為すぐには圏内/圏外表示はされません。

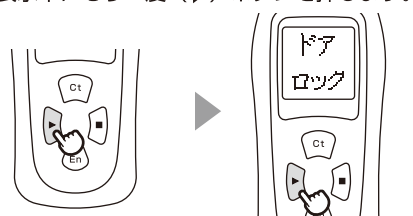
◆ドアロック/アンロック

※セキュリティと連動してドアロック機能を作動させる場合はP29の（セキュリティのスタート/ストップ）を参照してください。


- 立体駐車場などセキュリティを作動させたくない場合X7000のリモコンでドアロック/ドアアンロックのみすることができます。（ドアロック配線時 P13.14参照）

○ドアロック ※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください


1 リモコンの (▶) ボタンを押し、待ち受け画面表示中にもう一度 (▶) ボタンを押しします。



2 電波が届いてドアロックするとリモコン液晶表示が緑色で "OK!" と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で "NG!" と表示されます。



ドアロックした時



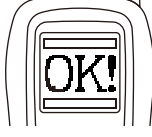
電波が届かなくドアロックしなかった時

○ドアアンロック ※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください

1 リモコンの (■) ボタンを押し、待ち受け画面表示中にもう一度 (■) ボタンを押しします。



2 電波が届いてドアアンロックするとリモコン液晶表示が緑色で "OK!" と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で "NG!" と表示されます。



ドアアンロックした時



電波が届かなくドアアンロックしなかった時

※X7000でドアアンロック動作を行なった場合（ドアロック配線時）約30秒後にオートドアロック機能が働き自動的にドアロックを行います。（P38）

- ・セキュリティ作動中にドアロック/アンロックのみのリモコン操作はできません。
- ・リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います。

リモコンについて

◆エンジンスターターへのID登録

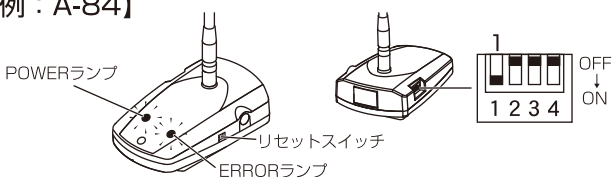

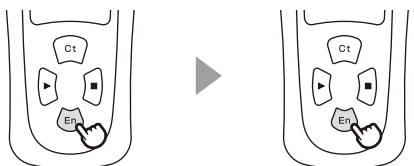
※BeTimeエンジンスターター対応機種
(A-73/74/75/83/84/85/93)のみ操作可能。

- BeTimeエンジンスターター（対応機種）にX7000のリモコンを登録することによりX7000のリモコンでエンジンスタート/ストップが可能になります。

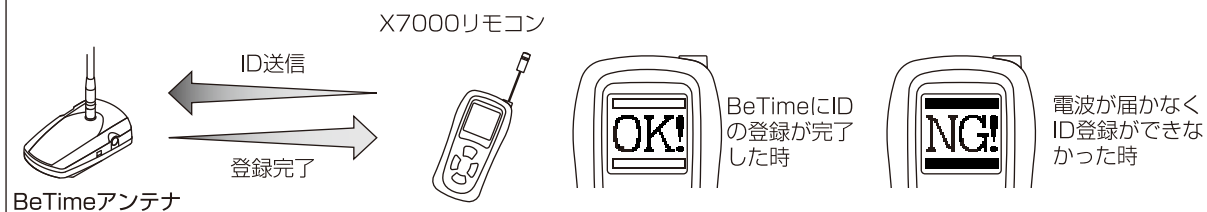
※BeTimeに登録できるX7000のリモコンは1個だけです。

●必ずはじめにBeTimeにX7000のリモコンを登録します。

※エンジンスターター機能を使用する前に必ず下記操作を行って下さい。

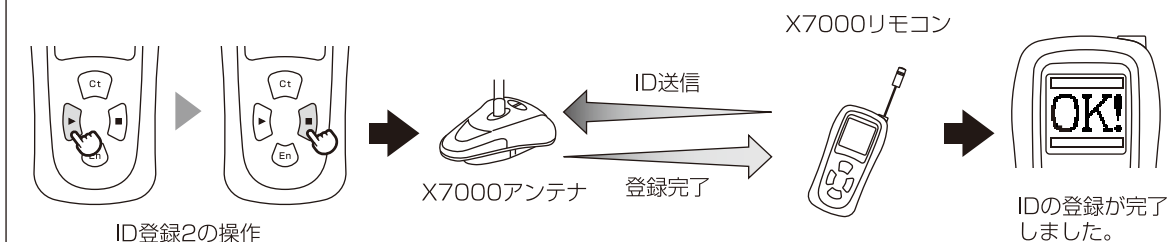
<p>1 BeTime取扱説明書を参照にリモコンのID登録又は追加登録の状態にします。</p> <p>【例：A-84】</p>  <p>・BeTime A-84の場合 アンテナファンクションスイッチNo.1をON（リモコン追加）にしてリセットスイッチを押しPOWERランプとERRORランプを点灯させます。</p> <p> A-9#シリーズなどスターターによってID登録または追加登録が違う場合がありますので必ず各スターター取扱説明書で確認してください。</p>	<p>2 リモコンの（En）ボタンを押し、待ち受け画面表示中にもう一度（En）ボタンを押しBeTimeにX7000のリモコンを登録します。</p> 
---	---

- 3** 電波がBeTimeに届いてID登録が完了するとリモコン液晶表示が緑色で”OK!”表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で”NG!”と表示されます。



- BeTimeに登録完了後、アンテナファンクションスイッチを登録する前の状態にもどして下さい。
- ・リモコンに”NG”が出た場合は再度**1**からやり直して下さい。

- 4** BeTimeにX7000のリモコンを登録をした後、X7000のアンテナユニットにID登録が必要になります。P37の●IDコード登録方法**3**で『2つ目（追加リモコン）』の操作でID登録を行ってください。



※リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います。また画面表示文字は設定により日本語、英語になります。

リモコンについて

◆エンジンスターターのスタート/ストップ

※BeTimeエンジンスターター対応機種(A-73/74/75/83/84/85/93)のみ操作可能。

●必ずはじめにBeTimeにX7000のリモコンを登録します。(P33)

○X7000リモコンでBeTimeエンジンスターター

<p>1 リモコンの (Ct) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に (▶) ボタンを押します。</p> 	<p>2 電波がBeTimeに届いてエンジンスターター動作するとリモコン液晶表示が緑色で"OK!"表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で"NG!"と表示されます。</p>  <p>エンジンスターターが作動を始めます。</p> <p>電波が届かなく作動しなかった時</p> <p>※BeTimeの機種によってエンジンが始動すると"OK!"表示の後、数秒後に"エンジン始動中(又は英語表示)"と表示されます。</p>
--	---

※リモコンに"OK!"表示がされたのにエンジンが始動していなかった時はBeTime取扱説明書を参照してBeTimeの配線を確認して下さい。

- ・エンジン始動後、X7000のリモコンでエンジンスターター動作を再度すると"エンジン始動中"と表示されエンジン始動の確認ができます。
- ・X7000のリモコンでエンジン始動した時、操作してから約15秒間はX7000のリモコンを操作してもBeTimeと電波で送受信している為、リモコン操作によるアンサーバックが正しく返信されない場合があります。

○X7000リモコンでBeTimeエンジンストップ

<p>1 リモコンの (Ct) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に (■) ボタンを押します。</p> 	<p>2 電波がBeTimeに届いてエンジンストップ動作するとリモコン液晶表示が緑色で"OK!"表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で"NG!"と表示されます。</p>  <p>エンジンが停止します。</p> <p>電波が届かなく作動しなかった時</p>
--	--

※上記操作はBeTimeのアンテナユニットで電波の送受信を行う為、BeTimeのアンテナユニットの取付位置により電波の届く範囲はX7000のスタート/ストップなどの動作範囲と異なります。

- ・リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います。また画面表示文字は設定により日本語、英語になります。

センサーの設定/調整

◆振動センサー

●車両への衝撃を検出し、警報を行う為の振動センサーの感度を設定します。

◇ボリュームの調整は強い振動用と弱い振動用の調整が必要になります。

振動センサー調整はセンサー設定 (P24) でB-5振動センサーをONにして、モード設定 (P30) はスタンダードモードで行ってください。

○まず弱い振動から調整します。

1 振動センサーVOLを中間の位置にあわせませす。

2 車両エンジンを切り、全てのドアを閉じます。

※駐車状態にします。

3 本製品をリモコンでスタートします。(P29)

4 キャンセルタイマー作動時(設定時のみ)、アンテナユニットLEDが全点滅します。

※スタート後、キャンセルタイマー作動時(設定時)は警報を行いません。

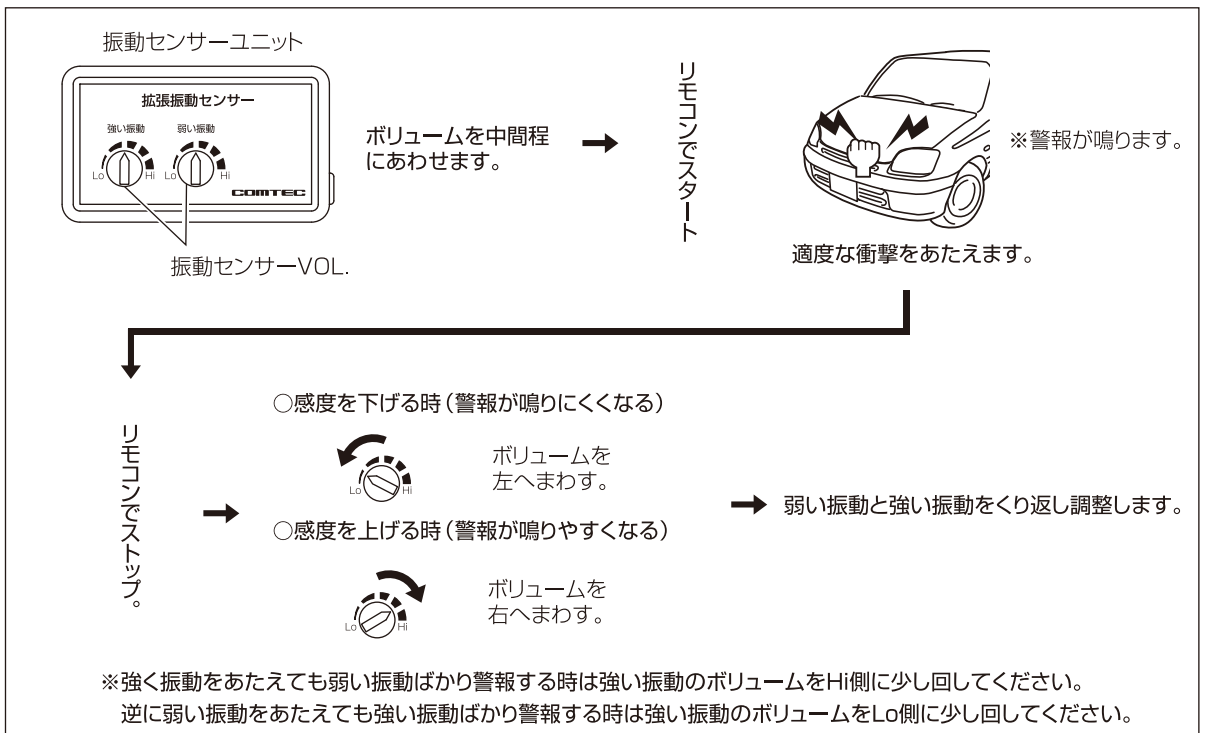
5 アンテナユニットのLEDが全点滅から表示が変わった後、車外から車両に軽く振動をあたえます。

6 適度な振動で、警報が行われる様に振動センサーVOL.を調整します。

※感度が弱い場合は振動センサーVOL.を右へ、強い場合は左へ少しずつまわして調整を行ってください。

必ずリモコンで本製品をストップ(P29)してから、振動センサーVOL.の調整を行ってください。

7 弱い振動の調整ができたなら同じように強い振動を調整します。



※車両のボディサイズ・車体のボディの構造・取付け位置・振動を与える場所などによって振動センサーの感度は大きく影響します。また感度を高めに設定した場合、雷、花火、改造車のマフラー音、大型車両などの走行時の強い揺れ等を振動センサーが反応してしまう場合がありますのでご注意ください。

- ・振動をあたえて警報が鳴った後すぐに振動をあたえても約2秒間はセンサーは反応しません。
- ・センサーの調整で車両に振動をあたえるのにボディのへこみ等にご注意して下さい。
- ・調整ボリュームは回し過ぎたり、力を入れて強くまわしたりするとボリューム又はユニットが破損する恐れがありますので注意してください。
- ・センサーの調整を行う時は警報が鳴りますのでまわりの環境にあわせスピーカーの音量 (P24) を調整してください。

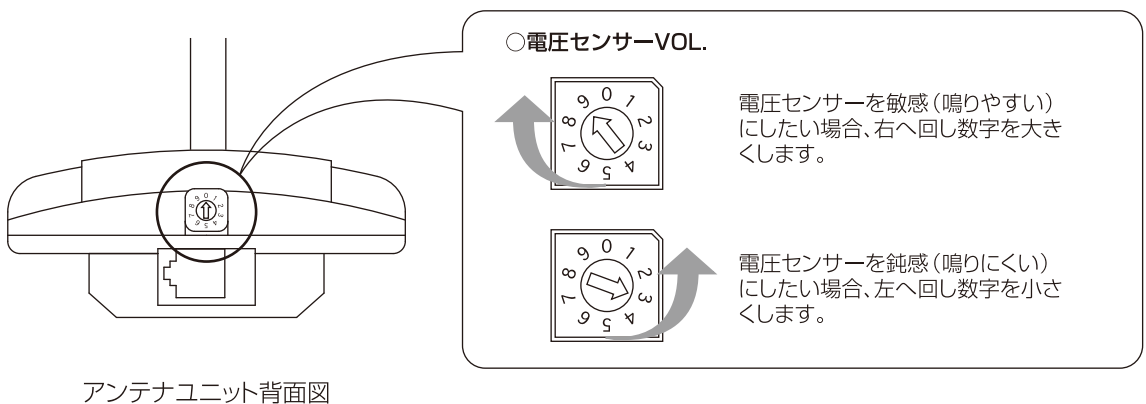
センサーの設定/調整

◆電圧センサー

●車両への電圧変化を検出する為の電圧センサー感度を設定します。必ず付属のドライバーを使用して調整を行ってください。

◇調整をする前に必ずドアを開けたらルームランプがつくように車両側を設定します。

- 1 アンテナユニット部電圧センサーVOL.を付属のドライバーで「5」の位置にあわせませす。
- 2 センサーの設定で振動センサーをOFFにします。(P24 アンテナユニットファンクションスイッチB-5をOFF)
- 3 ファンクションスイッチの設定を有効にする為、X7000を一度リモコンでスタートして、ストップして下さい。
- 4 車両エンジンを切り、全てのドアを閉じます。
※駐車状態にします。
- 5 本製品をリモコンでスタートします。(P29)
※スタンダードモードでスタートしてください。(P30)
- 6 キャンセルタイマー作動間(設定時のみ)、アンテナユニットLEDが全点滅します。
※スタート後、キャンセルタイマー(P22)作動の間(設定時)は警報を行いません。
- 7 アンテナユニットのLEDが全点滅から表示が変わった後、車外から車両のドアを開けます。
※ワイヤレスドアロック機能を使用せず車両のカギで直接開けてください。
- 8 警報が鳴るように電圧センサーVOL.を調整します。
- 9 警報が鳴らない場合は電圧センサーVOL.を「6」の方へ回して調整してください。調整ボリュームの数字が大きい程反応しやすくなります。
- 10 振動センサーを使用する場合は振動センサーをONにします。(P24)



※セキュリティ作動中に勝手に電圧変化が作動するなど、電圧センサーが安定作動しない時は、電圧VOLを「0」に近い数字に一段階づつ調整してください。それでも安定作動しない時は電圧センサーの設定(P20)をOFFにして電圧センサーを使用しないでください。

リモコンの登録について

◆リモコンのID登録（リモコン追加登録）

●IDコードとは

リモコンはそれぞれ重複しないように「IDコード」が設定されておりアンテナユニットの「IDコード」と一致しなければ、本製品を始動させる事ができないようになっております。

●本製品は付属のリモコンとは別に2個のリモコンが追加できます。（全部で3個までのリモコンが使用できるようになります。）

IDコードの再登録・追加登録をする場合、必ずアクセサリー検出線（水色）の配線が必要になります。（P9）

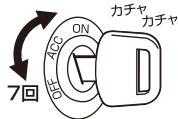
※配線をしていないとIDの再登録・追加登録はできません。

ターボタイマーを使用しているとイグニッションキー操作ができないので必ずターボタイマーをOFFにしてからイグニッションキー操作をしてください。

●IDコードの登録方法（本製品停止状態から操作してください）

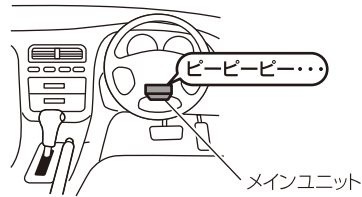
※トヨタプッシュ式エンジン始動車の場合は下記操作の前にP41をお読みになってください。

1 イグニッションキーをOFFの位置からACCの位置まで回し、OFFの位置まで戻します。この動作を7回行います。（20秒以内で行って下さい）

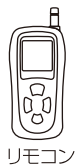


※アクセサリー検出線をイグニッションに配線した場合ACCの位置まで回す作業はイグニッション（ON）の位置まで回すことになります。

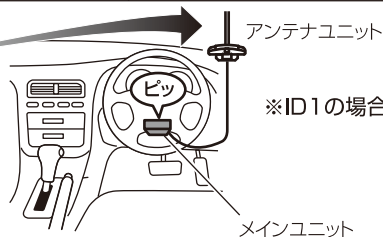
2 メインユニットから音“ピーピーピー”とブザーが鳴ります。



3 リモコンからIDを送信します。



ID送信



※ID1の場合

ブザーが鳴っている間に登録するリモコンのスイッチを押しIDを送信します。

- ・1つ目（付属リモコン）を登録する時は（En）ボタンを押します。待ち受け画面表示中にもう一度（En）ボタンを押します。IDが登録されると“ピッ”とメインユニットからブザーが1回鳴ります。
- ・2つ目（追加リモコン）を登録する時は（▶）ボタンを押します。待ち受け画面表示中に（■）ボタンを押します。IDが登録されると“ピッ ピッ”とメインユニットからブザーが2回鳴ります。
- ・3つ目（追加リモコン）を登録する時は（■）ボタンを押します。待ち受け画面表示中に（▶）ボタンを押します。IDが登録されると“ピッ ピッ ピッ”とメインユニットからブザーが3回鳴ります。

※BeTimeエンジンスターターに付属のX7000リモコンを登録をした場合は、X7000のアンテナユニットに付属リモコンを再度2つ目、3つ目（追加リモコン）の操作で登録してください。

4 上記**3**のようにブザーが鳴れば完了です。

- ・続けてリモコンを追加する場合は、ID登録完了後、少し時間（2～3分）をおいてから**1**から操作を行います。
- ・メインユニットからブザーが鳴らない場合は少し時間（2～3分）をおいて**1**から操作して下さい。

※IDコードの登録作業は20秒以内で行ってください。20秒以上かかるとID登録モードが解除されます。

（再度IDコードを登録する時は始めからIDコードの登録方法をしてください。）

- ・IDコードは何度でも書き換えができます。（同じ操作で新しいIDコードを書き込むと、前回登録したIDコードは消去されます。）
- ・車両のバッテリー交換や本製品の電源を外したり、車両ノイズなどによりリモコンのIDコードが消失する場合があります。その時はIDの再登録をしてください。
- ・何度やってもメインユニットから音が鳴らない場合、原因としてACCIに電圧が残り作動しない場合が考えられる為、その場合はP9のアクセサリー検出配線をIG（イグニッション）に配線して下さい。

その他の機能

◆オートドアロック機能

※X7000でドアロック配線をした時のみ下記操作が有効になります。

- オートドアロックとは
X7000でドアロック配線し、X7000のリモコン又はBeTimeのリモコンで知らないうちに誤ってドアアンロック動作した時、自動的に30秒後にドアロックをします。

⚠注意 自動でドアがロックしますのでカギのインロックに注意して下さい。

○オートドアロック機能の一時解除

次の操作によりオートドアロックが一時解除されます。

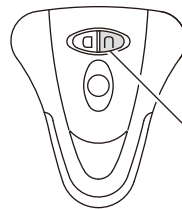
- ・X7000又はBeTimeのリモコンでアンロック動作をして30秒以内に車のドアを開けた時
※カーテシ配線（P12）がされているドアのみ有効です。
 - ・キー照明などにカーテシ配線を行った場合、ドアアンロック時にキー照明が点灯し、ドアオープン検出される為オートドアロック機能が解除されます。その場合はP24のアンテナファンクションスイッチB-8をONにして下さい。
- ・X7000又はBeTimeのリモコンでアンロック動作をして30秒以内にイグニッションキーをアクセサリー（ACC）又はイグニッション（IG）にカギを回した時
※アクセサリー検出線（P9）の配線がアクセサリー（ACC）又はイグニッション（IG）によってカギを回す位置が変わります。又エンジンスターターを作動させても解除されます。

○オートドアロック機能の解除

次の操作によりオートドアロック機能が永久に解除されます。

- ・アンテナユニットのアップボタン（U）ボタンを3秒以上押し、スピーカーから「停止」とお知らせします。オートドアロック機能を使用したい時はもう一度同じ操作をすることによりスピーカーから「始動」とお知らせします。

アンテナユニット



U:アップボタン

注. オートドアロック機能を解除設定してある場合でもバッテリー交換作業等、アンテナユニットの電源が切れるとオートドアロック機能がONされる場合がありますので その時はもう一度設定をやり直して下さい。オートドアロックが作動してもセキュリティは作動せず、ドアロック音も鳴りません。

◆省電力モード機能

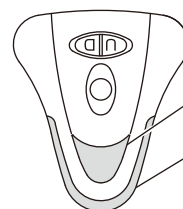
- X7000が8日以上連続で作動し、その間、警報等が一度も発生しない時、バッテリー保護の為にアンテナユニットの表示が点滅に変わります。（各センサーは作動しています）

※リモコンでスタート/振動・電圧変化の検出等を行うと省電力モードは解除され設定（P24）の表示に変わります。表示設定（P24）で表示なしの場合は、省電力モードが作動しても表示なしのままです。

◆フラッシャー/フラッシュライトの威嚇機能

- X7000作動中（監視中）センサーが異常を検出した時、アンテナユニットのフラッシャーLEDがスピーカー/ホーン警報中全点滅します。フラッシュライトは1秒おきに点滅します。

※スピーカー警報音設定（P21）がOFFの場合、またはサイレントモードの時は上記の点滅ではなく1回だけフラッシャーとフラッシュライトが点滅します。



フラッシュライト

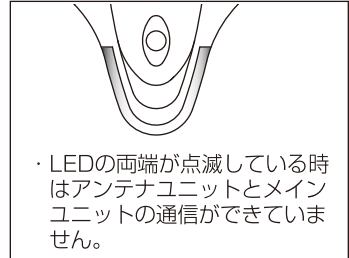
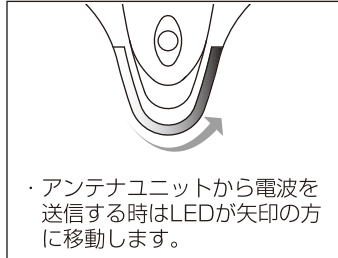
フラッシャーLED

アンテナユニット

その他の機能

◆通信確認機能

- X7000のアンテナユニットとリモコンの電波の送受信、アンテナユニットとメインユニットの通信の状態をアンテナユニットのLEDで確認することができます。



※上記表示がされる時はアンテナ接続ケーブルを確認して下さい。

◆セキュリティの強制スタート/ストップ

- リモコンを破損・紛失した場合などリモコンで本製品をスタート、ストップできない場合に車両イグニッションキー操作により本製品をスタート、ストップできます。
※トヨタプッシュ式エンジン始動車の場合は下記操作の前にP41をお読みになってください。

◆必ずアクセサリ検出線（水色）の配線が必要になります。配線をしていないとイグニッションキー操作によるセキュリティのスタート、ストップはできません。（P9）

◆ターボタイマーを使用しているとイグニッションキー操作ができませんので必ずターボタイマーをOFFにしてからイグニッションキー操作をしてください。

●セキュリティのスタート（本製品が停止している状態から操作を行います）


- 1 イグニッションキーをOFFの位置からACCの位置まで回し、OFFの位置まで戻します。
この動作を『6回』行います。（20秒以内に行ってください）
※アクセサリ検出線をイグニッションに配線した場合ACCの位置まで回す作業はイグニッション（ON）の位置まで回す操作になります。
- 2 上記操作終了後、約10秒後にキャンセルタイマーが作動し本製品が始動します。
※キャンセルタイマー設定がOFFでも20秒は作動します。
※何度操作しても始動しない場合は、アクセサリ検出線の配線位置が違うか本体メインユニットの異常が考えられます。

注意！X7000を強制スタート（監視状態）にした時はリモコンでセキュリティをスタート操作し、リモコン待ち受け画面にセキュリティ作動状態表示（**On**）をしない限りリモコンでのアンサーバック警報は行いません。

●セキュリティのストップ（本製品が作動している状態から操作を行います）

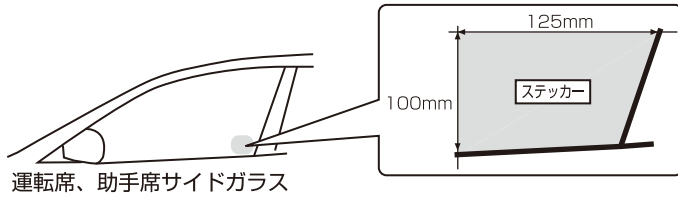
- 1 イグニッションキーをOFFの位置からACCの位置まで回し、OFFの位置まで戻します。
この動作を『5回』行います。（20秒以内に行ってください）
※アクセサリ検出線をイグニッションに配線した場合ACCの位置まで回す作業はイグニッション（ON）の位置まで回す操作になります。
- 2 上記操作終了後、本製品が停止します。
※上記操作により本製品が停止後連動してアンロック動作を行います。
※何度操作しても停止しない場合は、アクセサリ検出線の配線位置が違うか本体メインユニットの異常が考えられます。

付属のステッカーについて

- 付属ステッカーは車両のフロントガラスに貼らないでください。また運転席、助手席サイドガラスに貼る場合は下記図  の範囲で貼って下さい。



付属ステッカー



運転席、助手席サイドガラス

本製品の修理について

- 本製品の破損・点検・故障した場合、購入した販売店又はお近くの販売店へ修理の依頼・ご相談をしてください。
- 修理・点検依頼された場合、修理期間中は別商品の貸出し（代替品）などのサービスは行っておりません。
- 修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車両盗難、車上狙い、車両へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任は負いかねます。

○リモコンを破損・紛失した場合

- リモコンを破損した場合は、販売店へ修理のご依頼・ご相談をしてください。又、修理不能（水に濡らしたなど）もしくは紛失された場合は新たにリモコンのみをご購入頂き再度ID登録を行うことで、ご使用できます。
- ※リモコンご購入時の注意：防犯上、安全の為に保証書の提示等をお願いする事があります。

オプションについて

- 新保安基準でオプションを取付ける場合は本製品を含めて全体で平均30mA以下で取付ける必要があります。
- 本製品の取付け可能オプション、平均待機電流は下記になります。

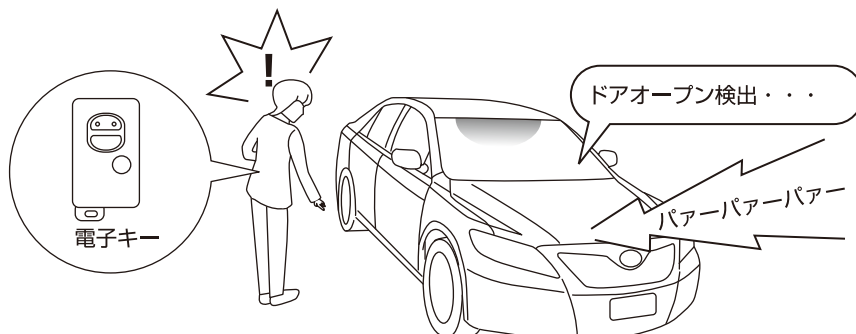
品名	平均待機電流
◎X7000総合（本製品）	15mA
Be-965「ワイヤレスドアロックアダプター」	0mA
Be-968「アンサーフラッシュリレー」	0mA
Be-972「トヨタ用ドアロック配線」	0mA
Be-974「多重通信ドアロックアダプター」	0mA
SS-059「カーテシ配線2（複数線）」	0mA
SS-066「ツインデジタル衝撃センサー」	1mA
SS-067「ボンネット/トランクセンサー」	0mA
SS-068「分岐ユニット」	0mA
SS-069「バックアップ電源ユニット」	1.5mA
SS-070「マイクロ傾斜センサー」	1mA

- ※全てのオプションを取付けても30mAを越えることはありませんがSS-066「ツインデジタル衝撃センサー」を2個以上追加する場合は30mAを超えないように追加してください。

スマートエントリー&スタートシステム車に取付けたお客様へ

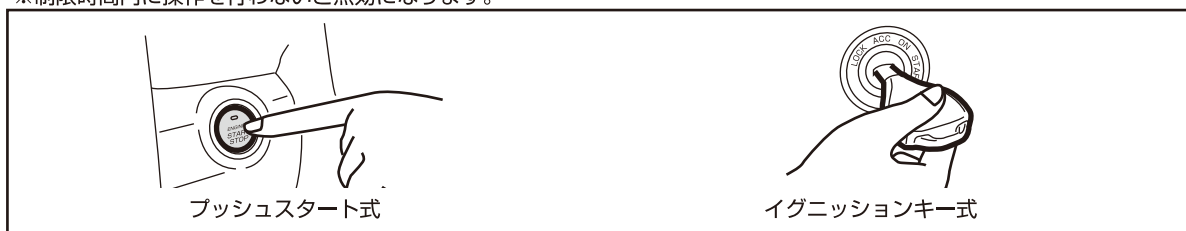
●トヨタ車のスマート&スタートシステム装備車に本製品を取付けた場合、下記のことにご注意が必要になります。

- ◎車両の電子キー（スマートキーなど）を持ったまま車両へ近づくと、アンロックしていない状態でもルームランプが点灯し、センサーが作動することがあります。
電圧センサーが作動する場合は電圧センサー設定スイッチをOFF（P24）にしてください。
カーテンセンサーが作動する場合はカーテン配線の場所（ルームランプと連動しない場所）を変更してください。
また電子キー（スマートキー）の作動範囲に入る前にセキュリティをストップしてから車両に近付くとセンサーは作動せず車両に近付けます。



- ◎エンジンの始動方法がプッシュスタート式の場合はカギでの操作ができない為、P37「リモコンのID登録（追加登録）」P39「セキュリティの強制スタート/ストップ」の操作がカギでできません。プッシュスイッチを押した回数で設定を行いますので注意下さい。

※制限時間内に操作を行わないと無効になります。



例：リモコンのID登録（追加登録）の場合

【イグニッションキー式の場合】 ※OFFからACC→OFFを7回繰り返します。詳細はP37

カギ操作

OFF→ACC→OFF→ACC→OFF→ACC→OFF (ACC→OFF→ACC→OFF) (ACC→OFF→ACC→OFF)

1回 2回 3回 6回 7回

【プッシュスタート式の場合】

フットブレーキを踏まずにプッシュスイッチを1回押すとACC、2回押すとIG、3回押すとOFFになります。（この動作を繰り返します。）
カギでの操作と同じ信号を認識させる為、プッシュスイッチを21回押してください。（カギで7回操作したのと同じになります。）

プッシュスイッチ操作

OFF→1回押す→2回目→3回目→4回目→5回目→6回目 (19回目→20回目→21回目)

ACC IG OFF ACC IG OFF ACC IG OFF

1回 2回 7回

メインユニットからブザー音が鳴りID登録ができるようになります。

- ・強制ストップ（P39）の操作は、セキュリティ作動中にプッシュスイッチを15回押すと強制ストップします。（カギを5回操作したのと同じになります。）
- ・強制スタート（P39）の操作は、セキュリティOFFの状態です押しスイッチを18回押し、約10秒後にセキュリティが強制スタートします。（カギを6回操作したのと同じになります。）

故障かな？と思ったら

●本製品を使用中、正常に作動しない場合、点検・修理をご依頼される前に、下記表を参照してご確認ください。

症 状	確 認	対 策	ページ
リモコンで スタートストップ しない	・正しく配線されていますか？	・配線を確認してください。	6~17
	・常時電源線のヒューズが切れていませんか？	・常時電源線のヒューズを交換してください。	15
	・リモコンの電池が切れていませんか？	・充電を行なってください。	26
アンテナユニット LEDが 点灯しない	・4Pコネクタが確実に接続されていますか？	・4Pコネクタの接続を確認してください。	15
	・アンテナユニットLED表示設定がOFFになっていませんか？	・アンテナユニットLED表示設定を確認してください。	24
警報が出力しない (スピーカー)	・スピーカーユニットが正しく配線されていますか？	・配線を確認してください。	8
	・スピーカー警告設定がOFFになっていませんか？	・スピーカー警告設定を確認してください。	21
	・サイレントモードになっていませんか？	・モードをサイレントモード以外に設定してください。	30
警報が出力しない (電圧変化検出時)	・電圧センサーは正しく設定されていますか？	・電圧センサーの設定がONになっているか確認してください。 ・電圧センサーVOL.の設定の確認をしてください。	24・36
	・ルームランプはドアオープンと連動して点灯していますか？	・ルームランプをドアオープンと連動させてください。 ※一部車種で、ドアオープン時の電圧変化が作動しない場合があります。その場合、付属のカーテシ配線を行ってください。また車種により、別売のカーテシ配線2(複数線)「SS-059」が必要になる場合があります。	18
警報が出力しない (カーテシ検出時)	・カーテシ配線は正しく配線されていますか？	・カーテシ配線を確認してください。	12
	・カーテシセンサーの設定は正しく設定されていますか？	・カーテシセンサースイッチの設定を確認してください。	12
	・各ドアのカーテシが独立している車種ではありませんか？	・別売のカーテシ配線2(複数線)「SS-059」を使用してください。	7・12
警報が出力しない (衝撃検出時)	・振動センサーは正しく設定されていますか？	・振動センサーの設定がONになっているか確認してください。 ・振動センサーVOL.の設定を確認してください。 ・振動センサーユニットの取付け位置を確認してください。	24・35
	・シティモードになっていませんか？	・モード設定をシティ、サイレント以外に設定してください。	30
警報が出力しない (全ての警報)	・アクセサリ検出線・BeTime信号線は正しく配線されていますか？	・アクセサリ検出配線の確認をしてください。 ・振動センサーユニットのコネクタを確認してください。 ・センサー設定の確認をしてください。	9・16・24
衝撃がない状態で 警報が出力される	・振動センサーは正しく設定されていますか？(Hiになっていませんか)	・振動センサーVOL.の設定を確認してください。 ・振動センサーユニットの取付け位置を確認してください。	16・35
	・駐停車時に電圧変化の発生する装備が車両に取付けられてませんか？	・カーテシ配線を行ってください。	12
ドアロック・ アンロックしない (配線時)	・ドアロック配線は正しく配線されていますか？	・車種別専用ハーネス適合表で取付け可能な車種が確認してください。	—
	・取付配線する車にオプションは必要ないですか？	・ドアロック配線する車種によっては、オプションBe-965が必要になる場合がありますので車種別専用ハーネス適合表で確認をしてください。	—

X7000仕様

- リモコン
技術基準 RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数 429.2MHZ
送信出力 10mW
電波形式 F1D
呼出名称 送信時に自動送出
周波数安定度 $\pm 4\text{ppm}$ 以内(25°C)
周波数偏位 $\pm 2.5\text{KHZ}$ 以内
送信時間 3秒以内
送信休止時間 2秒以上
受信周波数 429.2MHZ
受信感度 -116dBm 以下で安定動作
局発安定度 $\pm 4\text{ppm}$ 以内(25°C)
送受信アンテナ トップロードアンテナ
定格電圧 DC3.6V
動作温度範囲 $-20^\circ\text{C}\sim+60^\circ\text{C}$
使用電池 専用ニッケル水素電池
ケース寸法 22.0 (W) \times 79.0 (H) \times 38.3 (D) /mm
- メインユニット
定格電圧 DC12V
待機電流 平均15mA (全ての付属品接続時)
動作温度範囲 $-40^\circ\text{C}\sim+85^\circ\text{C}$
防塵/防水 IP40 (IEC規格)
ケース寸法 72.0 (W) \times 24.0 (H) \times 105.0 (D) /mm
- アンテナユニット
技術基準 RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数 429.2MHZ
送信出力 10mW
電波形式 F1D
呼出名称 送信時に自動送出
周波数安定度 $\pm 4\text{ppm}$ 以内(25°C)
周波数偏位 $\pm 2.5\text{KHZ}$ 以内
送信時間 10.8秒以内
送信休止時間 2秒以上
受信周波数 429.2MHZ
受信感度 -118dBm 以下で安定動作
送受信アンテナ $1/4\lambda$ ホイップアンテナ
動作温度範囲 $-40^\circ\text{C}\sim+85^\circ\text{C}$
定格電圧 DC5V
防塵/防水 IP40 (IEC規格)
ケース寸法 45.0 (W) \times 26.5 (H) \times 75.0 (D) /mm
- スピーカー
動作温度範囲 $-40^\circ\text{C}\sim+85^\circ\text{C}$
防塵/防水 IP40 (IEC規格)
ケース寸法 96.0 (ϕ) \times 40.0 (D) /mm
- 振動センサー
定格電圧 DC5V
動作温度範囲 $-40^\circ\text{C}\sim+85^\circ\text{C}$
防塵/防水 IP40 (IEC規格)
ケース寸法 35.0 (W) \times 17.2 (H) \times 60.0 (D) /mm

さくいん

あ

Be-965 (ワイヤレスドアロックアダプター)・・・	13/40
Be-968 (アンサーフラッシュリレー)・・・	7/23/40
BeTime (エンジンスターター)との接続	9
BeTime (エンジンスターター)のID登録	33
SS-059 (カーテシセンサー2)・・・	7/12/40
SS-066 (ツインデジタル衝撃センサー)・・・	7/40
SS-067 (ボンネット/トランクセンサー)・・・	7/40
SS-068 (分岐ユニット)・・・	7/40
SS-069 (バックアップ電源ユニット)・・・	40
SS-070 (マイクロ傾斜センサー)・・・	7/40
アース接続	8
アクセサリ検出配線	9
アンサーバックについて	25
アンテナユニットの取付け	15
アンテナユニットファンクションスイッチの設定一覧	20
エレクトロタップの使用法	6
エンジンスタート/ストップ	34
オートドアロック	38
オプションの接続	7
オプションの種類と待機電流	40

か

カーテシ配線	12
キャンセルタイマーの変更	22
警報 (スピーカーとホーン)	18
警報 (リモコン)	19
警報の時のハザード設定	23
圏内/圏外表示	32
故障かな	42

さ

修理	40
使用上の注意	2
省電力モード機能	38
初期設定 (アンテナファンクションスイッチ)	20
充電器	26
振動センサーON/OFF	24
振動センサーの取付け	16
振動センサー調整 (ボリューム)	35
新保安基準について	2
スタート/ストップ (リモコン)	29
スタート/ストップ音	23
スタート/ストップ時のハザード設定	23
スピーカー (予備警報) 警報音の変更	21
スピーカー音量の調整	24
スピーカーの取付け	8
スマートエントリー&スタートシステム車の取付け	41

た

電圧センサーのON/OFF	24
電圧センサー調整 (ボリューム)	36
ドアアンロック/ドアロック	32
盗難保険	43
特長	3
止め方 (強制)	39
取付け接続の注意	6

は

配線全体図	7
パニックアラーム	31
ホーン配線	10/11
ホーン (本警報) 警報音の設定	22
本警報	18
フラッシャーの表示変更	24
フラッシュライト	38

ま

待ち受け画面の表示内容	28
モード設定	30
名称	4/5
メインユニットの取付け	17

や

予備警報	18
------	----

ら

リモコンの操作一覧	27
リモコンの警報/表示	19
リモコンの充電方法	26
リモコンの追加	37
リモコンの破損・紛失	40
履歴機能	31